

# 平成23年度事業報告書

(平成23年6月～平成24年3月)



## 目 次

1	相談・広報	5
(1)	専門家派遣・窓口相談事業	5
ア	相談サービスの拡充	5
イ	経営支援相談員の配置、専門家特別相談の実施	5
ウ	高度化診断助言の実施	6
エ	経営改革機動班の設置、中小企業支援ネットワーク強化事業	6
オ	専門家派遣	6
カ	下請かけこみ寺事業	7
(2)	情報提供事業	7
ア	クリエイティブ京都M&Tの発行	7
イ	財団ホームページによる情報発信	7
ウ	財団パンフレットの発行	7
エ	ビデオライブラリー	7
(3)	専門的・高度人材活用事業	7
	ビジネス・スーパーバイザーによる事業評価及び指導	7
(4)	中小企業支援ネットワーク強化事業	8
(5)	ものづくり中小企業生産革新プロジェクト支援事業	8
(6)	小規模事業者等下支え緊急支援事業	8
(7)	設立10周年記念事業	8
ア	設立10周年記念式典・記念講演・賀詞交歓会	8
イ	ロゴマークの作成及び職員章の製作	9
ウ	設立10周年記念誌の発行	9
エ	京都中小企業技術大賞等受賞企業の掲載誌の発刊	9
2	経営課題の解決	10
(1)	市場開拓	10
ア	受発注情報提供事業	10
	①発注取引の適正化	10
	②取引あっせん	10
	③調査・情報の提供等	11
イ	マーケティング支援事業	12
	京都ビジネス交流フェア2012の開催	12
ウ	近畿・四国合同緊急商談会事業	13
エ	モノづくり受発注広域商談会	13

オ	日産自動車株式会社とのビジネスマッチング商談会	13
カ	ビジネスマッチング緊急支援チーム設置事業	14
キ	中小企業販路開拓展開等支援事業	14
ク	中小企業円高緊急対策支援事業	14
ケ	年末年始中小企業等緊急支援事業	14
(2)	設備投資支援	15
ア	設備貸与事業	15
イ	小規模企業者等設備導入支援事業	15
ウ	地域ものづくり企業設備投資支援事業	15
エ	中小企業節電対策緊急支援事業	15
(3)	人材の育成	16
ア	人材育成支援事業	16
イ	人材育成研修事業	16
ウ	北部産業活性化拠点事業	16
	①部地域における中小企業緊急雇用安定助成金申請企業向け教育訓練	16
	②丹後・知恵のものづくりパークにおける機器の貸付	17
	③丹後・知恵のものづくりパークでの人材育成事業	17
	④北部地域ものづくり後継者育成支援事業	17
エ	事業後継者育成支援事業	17
オ	中小企業基盤整備機構事業	17
(4)	ICT（情報通信技術）の活用	18
ア	IT活用促進支援事業	18
イ	広域連携ネットワーク整備事業	18
(5)	貿易・海外市場の進出	19
ア	京都企業アジア市場開拓支援事業	19
	①貿易、海外投資に係る相談	19
	②貿易セミナー、貿易実務講座	19
	③上海代表処（京都府上海ビジネスサポートセンター）の相談実績	19
	④訪日ミッションの招聘	20
	⑤京都府上海ビジネスサポートセンター帰国報告会	20
	⑥京都企業支援ネットワーク	20
	⑦日中ものづくり商談会@上海2011	20
	⑧2011 中国国際工業博覧会	21
	⑨ものづくり京都応援WEBサイト	21
	⑩京都企業中国市場開拓支援事業	21
	⑪海外メーカーとの取引あっせん	21

イ 京都イタリア中小企業交流支援事業	21
ウ 農産物輸出ビジネス支援事業	22
(6) 商業の活性化	22
商業活性化支援事業	22
3 経営革新・企業の連携・新事業の展開	24
(1) 経営・事業計画	24
ア 中小企業研究開発等応援事業受託事業	24
イ 地域産業研究開発支援事業	24
ウ 地域中小企業知的財産戦略支援事業	25
エ 知恵の経営の推進	25
オ 京都経営品質協議会の運営支援	26
カ 京都品質工学会の運営支援	27
(2) 起業・創業	28
ア 元気企業・旗揚げ促進支援事業	28
イ ベンチャー支援事業関連診査等の実施	29
(3) 企業連携	29
ア 中小企業技術開発促進事業	29
イ KIIC（京都産業創造クラブ）事業	31
ウ 異業種交流推進事業	32
①京都府異業種交流会連絡会議（30グループ）の運営支援	32
②グループ活動への支援	33
エ 京の職人グループ販路開拓支援事業	35
(4) 産学公連携	36
ア 交流連携促進事業	36
イ 産学公連携研究開発資金支援事業	36
ウ (独) 科学技術振興機構（JST）研究成果最適展開支援事業（A-STEP） 本格研究開発「起業挑戦タイプ」事業への支援	37
(5) 試作産業総合支援事業	37
ア 試作パートナー企業グループの育成	37
イ 試作グループ連絡会議等の開催	38
ウ 試作サポーターによる技術力・受注力向上の支援	38
エ 試作新市場開拓の支援	38
(6) 新産業育成・地域振興	40
ア 京都元気な地域づくり応援ファンド事業	40
イ きょうと農商工連携応援ファンド事業	41

ウ	農商工等連携支援事業の支援	42
エ	けいはんなベンチャーソフト支援事業	42
オ	京都環境ナノクラスター業務受託事業	44
カ	けいはんな・南部地域支援事業	44
キ	京都企業創造ファンド事業	46
4	庶務	47
(1)	理事会、評議員会	47
ア	理事会の開催状況	47
イ	評議員会の開催状況	48
(2)	第3次中期計画の策定	48
(3)	顧客満足度の定点観測	48
(4)	人材育成研修	49
(5)	会員の状況	50
	(資料)	
	財団の現況	51

# 平成 23 年度（6 月～24 年 3 月期）公益財団法人京都産業 21 事業報告

## 1 相談・広報

### (1) 専門家派遣・窓口相談事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

#### ア 相談サービスの拡充

平成 17 年 4 月から（財）京都産業 21 と京都府中小企業技術センターが連携して京都府産業支援センターを構成し、その機能の一環である総合相談窓口（お客様相談室）を引き続き運営。来所者への的確な案内、経営・技術の両面からワンストップサービスの相談・支援を専門家も活用しながら行った。平成 23 年 6 月から 24 年 3 月末の財団全体の総相談件数等は次表のとおりであった。

表 1 相談企業数と業種別内訳

相談企業数	内 訳					
	製造業	卸売業	建設業	小売業	サービス業	その他
6,004 社	4,184	115	106	261	811	527
	69.7%	1.9%	1.8%	4.3%	13.5%	8.8%

※%は構成比

表 2 相談の総件数 7,643 件

内 訳							
経営全般	マーケティング	資金	法律	労務	税務	技術	ビジネス
1,759	1,708	653	26	37	43	248	510
23.0%	22.4%	8.5%	0.3%	0.5%	0.6%	3.2%	6.7%
IT	取引適正化	事業提携	会社設立	省エネ	ISO	特許	その他
156	92	212	83	6	16	198	1,896
2.0%	1.2%	2.8%	1.1%	0.1%	0.2%	2.6%	24.8%

※%は構成比

#### イ 経営支援相談員の配置、専門家特別相談の実施

中小企業からの様々な日常的な相談に対応し、支援活動の拠点としての機能を高めるため、経営支援相談員を配置しており、また毎週木曜日午後には専門家特別相談（専門家 3 名の交替対応）を実施した。

表 3 相談員別相談件数

区 分	担 当 者	開設日数	相談件数	支援内容
経営支援 相談員	江川 宗治 氏 元村田製作所生産技術部次長	週 4 日	131 件	経営革新 88、創業 11、他技術等 32

専門家特別相談員	西村 卓氏 (有)アイディール取締役	43日	70件	15件	創業9、経営革新3、 その他3
	安田 徹氏 安田徹事務所所長			32件	創業13、経営革新 2、その他17
	山崎 忠夫氏 (株)ザ・ブレン代表取締役			23件	創業15、経営革新 2、その他6

## ウ 高度化診断助言の実施

独立行政法人中小企業基盤整備機構の規程に基づく高度化事業に係る資金の貸付け等の利用者に対する診断助言を実施した。

なお、組合等に参画の個々の組合員等に対しても財務診断助言を実施した。

表4 高度化診断助言の区分と件数

区分	小売商業等商店 街近代化事業	共同施設事業	商店街整備事業	施設集約化事業	設備リース事業	合計
件数	組合員1件	組合1件	企業1件 (関連店舗12件に助言)	組合1件 (関連店舗9件に助言)	組合員1件	5件

## エ 経営改革機動班の設置

ビジネス・スーパーバイザーを主宰者とするチーム「経営改革機動班」を設置し、企業の抱える多面的又は技術的な検討が必要な事例として、6月以降、13件について、検討・助言や財団支援策の適用を行った。また、専門家派遣に係る意見等、総合的な観点からのアドバイスなどの支援を実施した。

## オ 専門家派遣

財団に登録した民間専門家（計185名）から中小企業の課題に適した専門家派遣を行い、診断・助言を実施した。（6月～24年3月末派遣実績 93企業、延356回）

利用企業の業種は、製造業45.2%、サービス業21.5%、その他業種20.4%、小売8.6%、建設業4.3%からの利用があった。

また、「経営の革新」に分類されるものが96.8%で、支援内容としては経営全般が多く、具体的な支援課題としてIT、マーケティング、労務、税務に関するものが多かった。

利用後のアンケート調査では、99.4%が満足との回答であった（「満足」88.7%、「やや満足」5.7%）。

表5 専門家の分野別登録の状況

法律	2名(4)	経営全般	13名(8)	技術(金属)	2名(2)
知的所有権	8名(11)	経営戦略・マーケティング	33名(26)	技術(化学)	6名(8)
創業・ベンチャー	10名(10)	情報システム	13名(14)	技術(電気・電子)	3名(6)
資金調達・株式公開	2名(2)	環境管理	11名(12)	技術(食品)	4名(3)
財務・税務	14名(14)	品質管理	2名(2)	技術(繊維)	3名(4)
労務・人材開発	15名(11)	生産管理	4名(2)	技術(その他)	1名(1)
国際ビジネス	6名(5)	技術(機械)	7名(8)	デザイン・店舗設計	10名(10)
経営品質向上	3名(2)	その他	13名(6)	計185名(171名)	

※（ ）内は 20～21 年度登録者数、2 年毎に募集登録

#### カ 下請かけこみ寺事業（(財)全国中小企業取引振興協会 受託金）

- ①専任の相談員を設置し取引に係る苦情等相談に応じた。
- ②無料法律相談及び京都府内4カ所（京丹後市、綾部市、亀岡市、久御山町）において毎月、定期巡回相談所を開設（内3回無料弁護士相談）し相談に応じた。
- ③②以外にも、相談内容に応じて弁護士による無料相談を実施した。  
①～③で応じた相談件数は、83件。

### (2) 情報提供事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

#### ア クリエイティブ京都M&Tの発行

京都府産業支援センターを構成する京都府中小企業技術センターと連携して、中小企業者等の経営・技術をサポートする情報誌「クリエイティブ京都M&T」を発行した（6月号～翌年3月号まで 9回、各6,000部）。

#### イ 財団ホームページによる情報発信

中小企業者等の経営に有用な情報をホームページにて提供した。

アクセス数：6～3月 1,058,512件（月平均 105,851件）

（23年4・5月 160,003件 <22年1,220,156件>）

#### ウ 財団パンフレットの発行

財団パンフレットを作成し、財団の業務のPRに努めた。 8,000部

#### エ ビデオライブラリー

経営課題の解決に役立つビデオテープ（約2000本所蔵）311本の貸出を行った。また、貸出が解禁となったDVDソフトを社員教育や生産改善等の基礎的なテーマを中心に38枚購入した。

### (3) 専門的・高度人材活用事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

#### ビジネス・スーパーバイザーによる事業評価及び指導

経営又は技術部門を統括した経験を有するビジネス・スーパーバイザー（3名）により事業計画の評価や助言・指導を実施した。

表6 ビジネス・スーパーバイザーの活動内容

実施形態	回数	内容等
経営革新計画、応援条例等支援	14回	経営革新・応援条例計画プレゼンブラッシュアップ、応援条例補助金審査
ベンチャー可能性評価委員会	9回	技術開発促進事業補助審査・中間評価等
けいはんな小委員会	6回	けいはんなインキュベーション等審査
技術顕彰連絡会	3回	技術顕彰審査等

定例ミーティング	25回	
その他の審査会等	7回	文化コンペティション審査、登録専門家選考等

#### (4) 中小企業支援ネットワーク強化事業（近畿経済産業局）

中小企業支援ネットワーク事業として国から委嘱された上級アドバイザー2名と連携して延べ450件の相談支援を行い、56社に対して延べ233回の専門家派遣を活用して支援を行った。

＜テーマ別の専門家派遣回数＞

経営革新75回、知的資産経営15回、IT活用89回、創業20回、地域資源活用16回、ものづくり支援3回、事業再生9回、商工連携3回、事業承継3回

#### (5) ものづくり中小企業生産革新プロジェクト支援事業

（京都府補助金 ものづくり中小企業生産革新プロジェクト支援事業補助金）

中小企業応援隊と連携し、急速な円高等により取引先からのコストダウンの要請や受注量減少など様々な影響を受けているものづくり中小企業に対し、専門家による適切な診断助言を行い、生産現場でのコスト削減や生産効率の改善への取り組みを支援した。

支援企業数：8社 専門家派遣延べ回数：46回

#### (6) 小規模事業者等下支え緊急支援事業（京都府補助金 小規模企業等下支え緊急支援事業補助金）

当財団が商工会・商工会議所等の経営支援員と連携し、中小企業応援隊サポーターとして現地現場主義に立ち、中小企業等の経営安定と成長のコンサルティングなどスピード感ある効果的な支援に取り組んだ。

具体的な取り組みとしては専門家による相談会やイノベーションに取り組む意欲ある中小企業への取り組みに対し、補助金（100千円）の交付を行った。

- ・ 中小企業診断士等の専門家による相談会 5件
- ・ コーディネーターによる中小企業サポートの実施 15件
- ・ 経営革新的な取り組みを行う中小企業への補助金交付 15件（1,500千円）

#### (7) 設立10周年記念事業（特定準備金取崩し）

##### ア 設立10周年記念式典・記念講演・賀詞交歓会

- ①日時 平成24年1月6日（金） 午後2時～7時
- ②場所 ホテルグランヴィア京都（京都市下京区烏丸通塩小路下ル）
- ③参加者 （財団役職員含む）
  - 記念式典 235名
  - 記念講演 250名
  - 賀詞交歓会 303名

##### ④内容

- ◆記念式典（午後2時～2時45分）

・表彰

京都府知事感謝状	3名（出席2名、欠席1名）
京都府知事表彰	9名（出席9名）
理事長感謝状	15名（出席11名、欠席4名）
理事長表彰	2名（出席2名）

・財団ロゴマークの発表

◆記念講演（午後3時～5時）

- ・講師 西口 泰夫 氏 博士（技術経営）  
同志社大学大学院客員教授 元京セラ（株）代表取締役会長
- ・演題 「グローバル競争化時代において中堅・中小企業が持続的成長を図るための新たな技術経営の提言」

◆賀詞交歓会（午後5時30分～7時）

共催：京都府異業種交流会連絡会議

イ ロゴマークの作成及び職員章の製作

- ◇職員章チームによる協議・検討、職員投票等を経てロゴマークを決定
- ◇決定したロゴマークを基に、職員章バッジを製作
- ◇併せて、ロゴマークの入った封筒の製作、名刺デザインの統一を実施

ウ 設立10周年記念誌の発行

発行部数 3,000部

エ 京都中小企業技術大賞等受賞企業の掲載誌の発刊

設立10周年を記念して、平成5年の京都中小企業技術顕彰制度の発足から、23年度までの京都中小企業技術大賞等受賞企業を掲載した冊子の発刊にむけて、本年度は、取材・原稿作成業務まで取組んだ。

## 2 経営課題の解決

### (1) 市場開拓

#### ア 受発注情報提供事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

##### ①受発注取引の適正化

（財）全国中小企業取引振興協会の委託を受け、専任の常勤相談員を配置し、中小企業の取引に係るトラブル等の相談やアドバイス等を実施した。また、相談弁護士を配置し、定期的に無料法律相談を実施した。

表7 受発注取引適正化の相談内訳

下請代金法関係						
支払遅延	代金減額	返品	買ったたき	不当な経済上の利益提供要請	その他	小計
7 (1)	11 (2)	0	0	0	11 (5)	29 (8)

建設業関係	運送業（代金法関連除く）	その他	合計	対応	
				相談	ADR
17 (7)	1 (1)	27 (9)	74 (25)	74 (25)	0

※うち、弁護士相談38（17）件、（ ）内は下請かけこみ寺事業相談

\*ADR（裁判外紛争解決手続（和解の仲介））

##### ②取引あっせん

景気低迷及び海外への生産シフトが加速するなか、既存の発注量が減少する状況にあって、新規取引先を求める案件は少なかったものの、受発注登録企業のほか、訪問による広域的な発注開拓を行うなど、取引あっせんに努めた。

表8 登録企業数

区分	平成23年6月～平成24年3月		平成23年5月末	平成24年3月末	前年度末
	新規登録数	登録取消数			
発注企業	6(1)	15(4)	770(238)	761 (235)	779(242)
受注企業	14(1)	63(5)	2,241(60)	2,192 (56)	2,258(63)
合計	20(2)	78(9)	3,011(298)	2,953(291)	3,037(305)

（ ）は他府県分で内数

この他、インターネットによる受発注取引情報提供システム（BPNet）登録企業数1,206社

表9 受発注申出・あっせん件数及び相談件数

区 分	件数・金額	区 分	件 数
発注申出件数	483 件	取引あっせん相談	831 件
受注申出件数	720 件	経 営 相 談	228 件
あっせん件数	2,135 件	技 術 相 談	4 件
取引成立件数	115 件	苦情・紛争相談	86 件
当初成約金額	89,588 千円	そ の 他	347 件
		合 計	1,496 件

③調査・情報の提供等

◆発注企業動向調査

財団に登録している発注企業の動向を把握し、受注企業へ情報として提供するとともに、受発注取引あっせんの円滑な推進を図ることを目的に、郵送によるアンケート調査方式により実施

表 10 発注企業動向調査実績

区 分	調査時期	調査対象	回答企業	回収率(%)
第 1 回	平成 23 年 3 月末現在	財団登録発注企業 162 企業	93 企業	57.4
第 2 回	平成 23 年 9 月末現在	財団登録発注企業 161 企業	94 企業	58.4

◆受注登録企業動向調査

財団に登録している受注企業の受注動向を把握し、受発注取引あっせんの円滑な推進を図ることを目的に、郵送によるアンケート調査方式により実施

表 11 受注登録企業調査実績

	調査時期	調査対象	回答企業	回収率(%)
第 1 回	平成 23 年 6 月末現在	財団登録受注企業 300 企業	174 企業	58.0
第 2 回	平成 23 年 9 月末現在		173 企業	57.7
第 3 回	平成 23 年 12 月末現在		178 企業	59.3
第 4 回	平成 24 年 3 月末現在		186 企業	62.0

◆北部地域の産業動向・景況の調査

北部地域機械金属業界景況動向の調査・分析を実施して、結果を関係団体・企業・マスコミ等に情報提供及び広報した。

表 12 北部地域機械金属業界景況調査実績

	調査時期	調査対象	回答企業	回収率(%)
第 2 回	平成 23 年 6 月末現在	北部企業 286 企業	128 企業	44.8
第 3 回	平成 23 年 9 月末現在		120 企業	42.0
第 4 回	平成 23 年 12 月末現在		113 企業	39.6

◆丹後織物業の景況動向調査

丹後織物業景況動向の調査・分析を実施して、結果を関係団体・企業・マスコミ等に情報提供及び広報した。

表 13 丹後織物業景況動向調査実績

区 分	調査時期	調査対象	備 考
第1回	平成23年 6月	産地機業等 17社	訪問聴取方式
第2回	平成23年11月	産地機業等 20社	//

◆室町・西陣和装市況調査

京都和装市況の調査・分析を実施して、結果を関係団体・企業・マスコミ等に情報提供及び広報した。

表 14 室町・西陣和装市況調査実績

区 分	調査時期	調査対象	備 考
第1回	平成23年 9月	和装各種業態 8社	訪問聴取方式
第2回	平成24年 3月	和装各種業態 6社	//

イ マーケティング支援事業

(京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金、企業出展料、協賛広告料、特定準備金取崩し)

京都ビジネス交流フェア2012の開催

府内中小企業の開発製品や加工技術をアピールする展示会「ものづくり加工技術展」及び大手発注メーカー等との商談を行う「近畿・四国合同緊急広域商談会」など、新規取引先開拓の場や大学、金融機関、企業連携グループ等による展示及び農商工連携企業等による展示・商談会を行う「きょうと連携交流ひろば」、また、「ものづくり技術」「国際化」「試作」をテーマとしたセミナーなどによる「京都ビジネス交流フェア2012」を開催した。

展示会や受発注商談会に参加した企業からは、新規取引に繋がった或いは独自営業が困難なメーカーとの商談や多くの企業と情報交換ができたなどの評価を得た。

また、講演・セミナーを従来より拡充し、BPフォーラムとして4つの講演イベントを実施した。

表 15 京都ビジネス交流フェア2012の実績とアンケート結果（展示）

開催日	出展企業等	来場者数	商談件数	来場者アンケート結果 (回収 1,393 枚)	
				参考になった	参考にならなかった
2月23 ・24日	展示商談会：126社・15グループ 商談会： 発注企業135社、受注企業485社 連携ひろば展示コーナー： 48企業・大学・機関・グループ 農商工連携ゾーン：78企業・団体	8,500名	2,155件	95.8%	1.5%

表 16 BPフォーラム実績

	参加者	延べ合計	前回開催
京都“ぎじゅつ”フォーラム	140名	870名	120名
京都試作フォーラム2012	230名		—
10周年記念フォーラム	220名		—
国際化フォーラム	280名		150名

※参加者は、前回開催時より、大幅増となった

“ぎじゅつ”フォーラム以外は、初の稲盛ホールで開催  
 (経産省大臣審議官の講演要請あり ⇒ 国際化フォーラム第2部として講演実施  
 テーマ:「我が国の標準化と国際戦略」 講演者:河村延樹氏)

ウ 近畿・四国合同緊急広域商談会事業 (財)全国中小企業取引振興協会補助金

府県支援機関負担金)

新規外注先・協力先を求める全国の手・中堅メーカー等と新規取引先を開拓したい近畿・四国の中小企業に出会いの場を提供するために実施した。

今回の商談会では東日本大震災で多大な被害を受けられた地域の1日も早い復興を応援するため岩手県、宮城県、福島県の中小企業者の参加も受け付け、岩手県より1社参加があった。

日 時 平成24年2月23・24日 10時30分~16時30分  
 場 所 京都パルスプラザ  
 参加発注企業 135社  
 参加受注企業 485社(京都企業 146社)  
 商談件数 1,464件(24年5月より参加メーカーに対してフォロー調査を実施)

エ モノづくり受発注広域商談会 (京都府補助金 京都中小企業成長促等総合支援事業補助金)

大阪開催の商談会に共同主催者として参加し、京都企業に他府県での商談会参加の機会を提供し販路開拓支援を行った。

日 時 平成23年11月18日(金) 10時~17時  
 場 所 マイドームおおさか(大阪市中央区)  
 主 催 大阪、京都、滋賀、和歌山、香川、徳島、愛媛、高知の財団  
 参加発注企業 55社  
 参加受注企業 279社(54社)  
 面談件数 422件(82件)  
 成立 16件(5件)、当初成約金額 8,091千円(3,606千円)  
 ( )は京都企業分 3月31日時点。

オ 日産自動車株式会社とのビジネスマッチング商談会 (関西広域連合事業)

関西広域連合が主催する展示商談会に共催として参加し、京都企業に日産及びその周辺企業との商談の機会を提供し販路開拓支援を行った。

日 時 平成24年1月26・27日 10時~17時(27日は16時まで)  
 場 所 日産自動車株式会社テクニカルセンター(神奈川県厚木市)  
 主 催 関西広域連合  
 共 催 大阪、京都、兵庫、和歌山、徳島の各財団  
 出展企業 138社(21社)

来場者数 2日間 752名  
 商談件数 2日間 2,234件(370件)  
 ( )は京都企業分

**カ ビジネスマッチング緊急支援チーム設置事業**

(京都府補助金 中小企業等経営維持緊急支援事業補助金)

東日本大震災の影響により、受注量の減少及び生産資材や素材などの部材調達等が困難となり、生産活動に支障をきたしている企業及び京都府内で事業の立て直しを行おうとする被災企業を支援するため、当財団に「ビジネスマッチング緊急支援チーム」を設置し、府内企業及び被災企業の部材調達を円滑にするため、当財団ホームページに既設のインターネットを活用した「緊急部材調達サイト」(H23.4月開設)を設置した。震災関係でのビジネスマッチングとして、あっせん件数72件、成立件数10件の実績であった。

また、本チームにより、タイ洪水及び円高の影響を受けている企業の相談、支援にも対応した。

表 18 ビジネスマッチング緊急支援チーム設置事業の相談実績

項目	企業数	相談区分					
		部材	下請	販路	融資	設備	その他
震災	511	133	81	100	40	18	198
円高	128	5	32	23	14	4	54
タイ洪水	25	1	8	7	0	0	10
計	664	139	121	130	54	22	262

**キ 中小企業販路開拓展開等支援事業(京都府補助金 中小企業販路開拓展開等支援事業補助金)**

中小企業者が自社の強み等を生かし、将来にわたり競争力を維持し成長・発展を図るために策定された自社の複数年度実施計画に基づき、今年度実施される事業を支援するため、京都府が平成23年度当初予算で創設した「中小企業販路開拓展開等支援事業」を実施した。

表 19 中小企業販路開拓展開等支援事業の実績(助成実績額単位:千円)

募集期間	申請件数	採択件数	実施件数	助成実績額	備考
6月1日~6月22日	341	41	40	44,517	事業廃止1件

**ク 中小企業円高緊急対策支援事業(京都府補助金 中小企業円高緊急対策支援事業補助金)**

急激な円高の影響を受け、厳しい経営環境にある中小企業者が経営の安定・発展を図るために行う、新たな市場開拓等の取り組みを支援するため、京都府が平成23年度9月補正で創設した「中小企業円高緊急対策事業~販売戦略緊急支援事業補助金」を実施した。

表 20 中小企業円高緊急対策支援事業の実績(助成実績額単位:千円)

募集期間	申請件数	採択件数	実施件数	助成実績額	備考
10月24日~11月11日	98	44	44	44,902	

**ケ 年末年始中小企業等緊急支援事業(京都府補助金 年末年始中小企業等緊急支援補助金)**

急激な円高等の影響を受け、厳しい経営環境にある中小企業者が年末・年始を見据えて経営

の安定・発展を図るために行う、新たな市場開拓等の取り組みを支援するため、京都府が平成23年度12月補正で創設した「年末・年始中小企業等緊急支援事業費 ～販売戦略緊急支援事業補助金」を実施した。

表 21 年末年始中小企業等緊急支援事業の実績（助成実績額単位：千円）

募集期間	申請件数	採択件数	実施件数	助成実績額	備考
12月16日～12月26日	32	17	17	15,351	

## (2) 設備投資支援

### ア 設備貸与事業（京都府借入金、金融機関借入金）

設備貸与・リース事業の活用について、そのメリットのPRに努めているものの、小規模企業の設備投資意欲は依然低く、平成23年6月～24年3月までの事業実績は、  
16件 261,000千円 であった。

表 22 設備貸与申込状況

区 分	平成23年6月～24年3月申込		平成23年6月～24年3月実績	
	件 数	金 額 (千円)	件数	金 額 (千円)
割 賦	15	266,399	15	246,039
リ ー ス	1	15,000	1	14,961
計	16	281,399	16	261,000

### イ 小規模企業者等設備導入支援事業（京都府補助金 小規模企業者等設備導入支援事業補助金）

厳しい経済状況にある中、経営基盤強化を図る小規模企業者等の設備導入に対する助成を行うことにより、その負担を軽減し、経営基盤の安定を支援する。

- ・助 成 内 容 助成対象期間中の割賦損料の1/2、リース料の2.5%
- ・助成対象期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日
- ・助成額 12,709千円

### ウ 地域ものづくり企業設備投資支援事業

#### （京都府補助金 地域ものづくり企業設備投資支援事業補助金）

地域のものづくり企業の成長発展を支援するため、イノベーションを推進するため設備投資を行うものづくり企業に対し補助金を交付した。

交付先企業7社 交付額2,860千円

### エ 中小企業節電対策緊急支援事業

#### （京都府補助金 中小企業節電対策緊急支援事業補助金、京都府受託金）

東日本大震災の影響により、関西圏の夏の電力不足が懸念された中、省電力やピーク時電力の削減に取り組む府内中小企業を支援した。

- 補 助 率：1/3以内（上限1,000千円）
- 対象経費：設計費、設備費、工事費等
- 事業期間：7月～8月
- 補助実績：206件（97,937千円）

(3) 人材の育成

ア 人材育成支援事業（京都府補助金 中小企業促進等総合支援事業補助金）  
府内中小企業の従業員に対する実用IT研修の実施

表 23 実用IT研修の実施実績

研修名	開催日	参加者	
WEB系	ホームページ作成講座	7月14日、15日	8名
	HTML/CSS講座	7月28日、29日	6名
Office系	Excel2007 入門講座	8月11日	9名
	Excel2007 応用講座	8月12日	11名
	Excel2007 ビジネス活用 関数テクニック講座	8月25日、26日	9名
	Excel2007 マクロ/VBA 講座	9月1日、2日	5名
	Access2007 入門講座	9月29日、30日	8名
	Access2007 応用講座	10月13日、14日	5名
	パワーポイント 2007 講座	9月30日	9名
	プレゼンテーションテクニック講座	10月28日	4名
合計		74名	

アンケート結果では、「良い」「まあ良い」が93%と高評価を得た。

イ 人材育成研修事業（人材育成研修事業収益）〈人づくり塾〉

人材研修事業（人づくり塾）の実施

中小企業の人材育成に資するため、中堅社員研修及び新入社員フォローアップ研修を実施した。

表 24 研修メニューと受講者数

開催日	講習名	受講者数
11月16～17日	中堅社員研修（対象：中堅社員から管理職）	14名
11月24～25日	新入社員フォローアップ研修 （23年4月に実施した新入社員研修の受講者）	13名

ウ 北部産業活性化拠点事業（京都府補助金 北部産業活性化拠点管理費補助金 北部産業活性化拠点工事等負担金 北部産業活性化拠点人材育成事業費補助金、京丹後市補助金、北部産業活性化拠点管理運営費負担金 北部産業活性化拠点人材育成研修事業費負担金、北部地域ものづくり後継者育成支援事業受託金）

①北部地域における中小企業緊急雇用安定助成金申請企業向け教育訓練

京丹後市において、中小企業の受注減少による休業に対応する教育訓練事業等を、地域ニーズに即応しながら商工会、産業団体、教育機関、公設試験研究機関、ハローワーク等と連携して実施した。

4講座 延べ受講者数 495名

### ②丹後・知恵のものづくりパークにおける機器の貸付

京都府織物・機械金属振興センター、京丹後市、業界団体など関係機関との連携により、試験・検査機器貸付試験・検査機器貸付と導入機器の活用研修を実施した。

#### ・試験・検査機器の貸付

企業立地促進法に基づき、国の同意を得た「基本計画」（京都府京丹後地域）の実現を図るため、国の地域企業立地促進等共用施設整備費補助金及び府、京丹後市の支援を受けて、丹後・知恵のものづくりパーク内に整備した試作・検査機器を活用し、地域の産業技術活性化や企業立地の促進を図った。

貸付台数 258 台、使用時間 960 時間（京都府織物・機械金属振興センター分含む）

### ③丹後・知恵のものづくりパークでの人材育成事業

北部地域の機械金属加工業及び繊維工業における人材を育成するため、地域企業立地促進等事業費補助金を活用して、基礎的技術を備えた人材育成、生産現場を牽引するリーダーシップとマネジメント力を備えた管理者の育成、企業誘致のインセンティブとなり既存産業の更なる成長発展を支える開発・設計力を備えた人材育成等を実施した。

また、京都府、京丹後市の補助金を活用し、各種研修を京都府織物・機械金属振興センター等と連携して、経営・技術の両面に及び研修を実施した。

表 25 人材育成事業の実績

講座種類	講座数	延べ受講者数
技術系研修	53講座	1,211名
経営系研修	7講座	353名
合計	60講座	1,564名

### ④北部地域ものづくり後継者育成支援事業（京都府受託金）

北部地域産業の担い手を育成するため、府立工業高校、宮津高校、峰山高校において「工業高校等実践教育導入事業」に取り組み、企業における実習、学校で企業経営者・技術者による授業を受けることにより、高校と地元企業がお互いの認識を深めながら連携することにより、新たなものづくり人材の育成の礎を築いた。

## 工 事業後継者育成支援事業（特定資産運用益）

社団法人中小企業診断協会京都支部と共催により企業の事業承継支援のため、事業承継して間もない者や後継予定者等を対象に経営者育成大学を開催し、経営戦略・計画策定、マーケティング、財務会計、人材マネジメントについての講習及びグループ演習を通じて実践的な内容で実施した。

また、21、22年度の受講者の自主活動を推進するため側面的サポートを行った。

開催期間：平成23年7月～10月（7回開催 内、第1回及び第7回は1泊2日の宿泊セミナー）

受講者数：17名

研修の内容：とても役に立った・役に立った：93%～100%

経営者育成大学受講者の満足度（第1～7回アンケート結果から）

## オ 中小企業基盤整備機構事業（(独)中小企業基盤整備機構分担金）

財務会計に関する講習の受託実施（(財)全国中小企業取引振興協会と共催）

表 26 講習会の開催実績

開催日		講師	受講者数
第1回 10月18日	中小企業会計啓発・普及セミナー	藤井 明登 氏 (中小企業診断士)	47名
第2回 12月13日	中小企業会計啓発・普及セミナー	岡原 慶高 氏 (中小企業診断士)	50名
合計			97名

アンケート結果では「非常に役に立つ」「ある程度役に立つ」が第1回が93%、第2回が89%

#### (4) ICT（情報通信技術）の活用

##### ア IT活用促進支援事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

中小企業の経営者・情報化推進担当者に対する業務改善・経営革新に関するセミナーの開催

表 27 情報化関連セミナーの開催実績

開催日	テーマ	講師	受講者数
8月9日	IT経営による中小企業の経営力向上策！ ～クラウドから FaceBook まで、最新技術と経営の融合～ 顧客・販路拡大のためのWEB活用セミナー	岡田 浩一 氏 (明治大学経営学部教授) 石井 雄太 氏 (キャノンシステムアンドサポート株式会社) 坂田 岳史 氏 (有限会社ダイコンサルティング)	94名
10月4日 11月1日 12月6日 1月17日 2月7日	京都ソーシャルメディア研究会 ～Facebook のビジネス活用に挑戦～	坂田 岳史 氏 (有限会社ダイコンサルティング)	13名
10月5日 10月19日 11月2日 11月16日 12月7日	クラウド・SaaS 活用型 IT 経営力向上研修会	坂田 岳史 氏 (有限会社ダイコンサルティング)	9名
合計			116名

アンケート結果では、「大変参考になった」「参考になった」が83%と高評価を得た。

##### イ 広域連携ネットワーク整備事業（その他会費）

「京都デジタル疎水ネットワーク」接続サービス等の提供（14 企業・団体）

※参考：（14 企業・団体）京都府、NPO 法人地球デザインスクール、社会福祉法人市原寮、財団法人京都ゼミナールハウス、和東町役場、福知山市、木津川市、井手町、笠置町、南山城村、京都府丹後広域振興局、京都学園中学高等学校、京都聖カタリナ女子高等学校、学校法人ヴィアートル学園（洛星中学校・高等学校）

(5) 貿易・海外市場の進出

ア 京都企業アジア市場開拓支援事業（京都府補助金 東アジア市場開拓支援事業補助金）

①貿易、海外投資に係る相談

京都府海外ビジネスサポートセンターにおける貿易、海外投資に係る相談に対して、アドバイザーが助言や情報提供を行った。相談件数は、309件で、内容別には、貿易関連が117件、海外投資関連が139件、その他が53件であった。

地域的には中国に関する相談が60%と多くなっている。

②貿易セミナー、貿易実務講座

京都府海外ビジネスサポートセンターとして貿易実務講座、貿易セミナーを次のとおり開催した。

表 28 講座内容と受講者数

開催日	内 容	講 師	受講者数
8月5、9、 22日	貿易実務講座（3回シリーズ）	ジェトロ認定アドバイザー 弓削 俊也 氏	延べ 178名
11月14日	1部：「中国 内陸地域におけるビジネス展開と課題」	ジェトロ海外調査部中国北アジア課 課長代理 中井 邦尚 氏	122名
	2部：「中国市場進出のためのノウハウと知恵」	京都府上海ビジネスサポートセンター 首席顧問 劉 梅	
2月24日	1部：「アセアンへの企業進出 傾向と現状」	ジェトロ大阪本部貿易投資アドバイザー 樫山 映 氏	163名
	2部：「中国に進出のノウハウと知恵」中国人との付き合い方	京都府上海ビジネスサポートセンター 首席顧問 劉 梅	226名

③上海代表処（京都府上海ビジネスサポートセンター）の相談実績

上海代表処（京都府上海ビジネスサポートセンター）における平成23年6月から平成24年3月の総相談件数は、678件で、相談内容としては、販路開拓が29.4%と多いほか、事業連携、会社設立などの相談が多かった。

表 29 相談の総件数

業 種	相談企業数 (実数)	相談 等延 件数	内 訳								小計
			経営 全般	販路 開拓	法律	税務	貿易	事業 連携	会社 設立	その 他	
製造業	170	178	39	117	7	5	32	37	54	81	372
卸売業	20	23	6	12	1	1	3	2	9	8	42
建設業	2	2	1	1	0	0	1	2	2	0	7
小売業	23	25	0	16	1	1	1	3	0	8	30
サービス業	90	95	6	48	3	1	9	21	11	58	157
その他	54	56	1	5	3	1	3	3	2	52	70
計	359	379	53	199	15	9	49	68	78	207	678
			7.8%	29.4%	2.2%	1.3%	7.2%	10.0%	11.5%	30.6%	

④訪日ミッションの招聘

中国市場開拓支援の一環として、上海市工商联合会から訪日ミッションを招聘し、京都企業との交流事業を実施した。

日 時 平成24年2月22日（水）

工商聯参加者 金副主席（代表団団表）等15名  
（企業経営者13名、事務局2名）

京都企業参加者 19社、23名

⑤京都府上海ビジネスサポートセンター帰国報告会

中国とのビジネスを目指す京都企業への情報提供や商談アドバイス等の支援と併せ、中国市場開拓の参考となるよう、中国各地の企業、政府、経済団体等とのネットワークを通じて、最新の現地情報の収集活動の成果をもとに、日本では十分に伝わりにくい最新の中国経済の動向や京都企業のビジネスチャンス、課題等の提示する帰国報告会を開催した。

表 30 帰国報告会

開催日	内 容	講 師	受講者数
平成24年3月 22日	1部 「中国ビジネスの展開と課題」センター支援活動を通じて	京都府上海ビジネスサポートセンター 首席代表 藤原 二郎氏	90名
	2部 「初めての中国駐在を経験して」 中国から見た中小企業のビジネスチャンス	京都府上海ビジネスサポートセンター 代表 増居 崇裕 氏	

⑥京都企業支援ネットワーク

京都府上海ビジネスサポートセンターや京都企業をサポートするため、京都にゆかりのある企業・機関や人材等によるボランティアベースの応援団として「京都企業支援ネットワーク」を組織化。（平成24年3月末現在 126名(105社)）

幹事・事務局：京都銀行上海代表処

代表処1周年記念交流会 10月19日 59名

京都企業交流会（チーム京都）12月2日 9名

京都企業交流会 3月2日 9名

⑦日中ものづくり商談会@上海2011

府内ものづくり企業の中国でのビジネス展開支援を目的にファクトリーネットワークチャイナが主催する「日中ものづくり商談会@上海2011」の共催者となり京都コーナーを設け、京都企業と中国企業とのビジネスマッチングの場の提供を行った。

表 31 日中ものづくり商談会の商談実績

開催日	出展企業 (京都企業)	会 場	商談件数	
				内今後成約の可能性がある商談数
9月6日（火） ～7日（水）	469社 (47社)	上海世貿商城 (中国上海市)	891件	104件

⑧2011 中国国際工業博覧会

府内ものづくり中小企業の中国市場への進出支援を目的に、2011 中国国際工業博覧会に、「京都ブース」を設け、京都企業と中国企業とのビジネスマッチングの場の提供を行った。

表 32 2011 中国国際工業博覧会の商談実績

開催日	出展企業	会場	商談件数	名刺受取枚数
11月1日(火) ～5日(土)	8社	上海新国際博覧中心 (中国上海市)	104件	450枚

工業自動化展4社、環境保護技術・設備展4社（ジェットロ主催ジャパンプース内）

⑨ものづくり京都応援 WEB サイト

京都ものづくり企業の中国市場への進出支援策の一環として、昨年度、京都企業のPR用ページを開設。本年度も新たに募集し31社が申込み、昨年度からの継続分も含め34社が掲載中。（日本および中国で有力な製造業向けビジネス・マッチング・サイトであるファクトリーネットワークチェーンを活用し、同社のWEB内トップページにバナーを設置するとともに参加企業の個別ページ（中国語・日本語）を掲載（掲載期間1年））

⑩京都企業中国市場開拓支援事業

中国市場に進出しようとする中小企業が、自社の製品、技術、強み等をPRする経費の一部を補助し新たな市場開拓の取組を支援した。

補助実績 17社（5,684千円）

⑪海外メーカーとの取引あっせん

◇個別あっせん

海外（主に中国）に拠点を持つ大手メーカーに対し、海外に進出している京都企業の紹介・マッチングを行った。

発注企業3社に対し、京都企業7社（10件）を紹介

◇共同受注（チーム京都）

中国での販路拡大を目指し、急速に高まる自動化・省力化へのニーズに対応（受注）できる共同受注体制を構築するため、情報交換と意見交換を行った。

参加 20社

◇「海外進出企業ガイドブック」作成

掲載 53社

イ 京都イタリア中小企業交流支援事業（京都府受託金）

2004年にフィレンツェで開催されたフィレンツェ・京都姉妹都市提携40周年記念式典以来、京都府とフィレンツェの交流窓口として「京の若手職人育成プログラムフィレンツェ派遣」等京都府プロジェクトの企画補助及び京都府・トスカーナ州経済交流事業を推進するため、2名の現地専門家を雇用し、経済交流事業の支援業務を行った。

- ・トスカーナ州政府との連絡・調整に関する業務 55日 445時間従事
- ・トスカーナ州との経済交流事業の支援に関する業務 2日 17時間従事
- ・活動状況の報告 毎月1回報告

ウ 農産物輸出ビジネス支援事業（京都府補助金 京都府農産物輸出ビジネス支援事業補助金）

平成23年4月から、農産物等の輸出に関する相談業務や情報提供を行うための窓口となる、コーディネーター1名を配置し、農業ビジネスセンター京都との連携により、府内農産物等の輸出ビジネスを支援した。

①輸出相談窓口設置事業

平成23年4月から農産物等の輸出に関する相談業務等を行うための窓口となるコーディネーター1名を配置し、農業ビジネスセンター京都との連携により、府内農産物等の輸出ビジネスを支援した。（平成23年度相談対応件数：119件）

②農産物等輸出サポート隊設置・派遣事業

海外展開を目指す京都府内の農業生産者等に対し、民間の専門家を派遣し具体的課題に関する助言・指導を行う民間の専門家9名をサポート隊として組織。意欲のある農業生産者等が販路拡大等成長するため、要請や必要に応じてサポート隊を派遣し、支援を行った。（平成23年度 派遣回数10回）

③インターネット輸出支援事業

成長が見込まれる海外市場の事業展開を推進するため、京都府産生産物を取り扱う海外消費者向けウェブサイト「京都市的農産物モール」を構築し、京都府内の農林水産物等の販路拡大及び海外市場参入のテストマーケティングの支援体制を構築した。

（URL：<http://kyo-nousanbutsu.ocnk.net/>）

（6）商業の活性化

商業活性化支援事業（京都府補助金 京都中小企業成長等総合支援事業補助金）

◇情報誌「まいんどKyoto」の発行（年1回（12月）3,500部発行）

あきんど講座等の講演要旨、繁盛店レポート（繁盛店の秘訣）、チャレンジ精神あふれる商店街や地域の事業者のチャレンジレポート（きょうと元気な地域づくり応援ファンド支援事業実施事業者）、京の老舗レポートを紹介する情報誌として発行した。

◇あきんど講座の開催（セミナー開催：年3回）

京都府各広域振興局や商工会議所、商工会等と連携し、経営セミナー、実技講習等を開催した。

実践的なテーマで開催したことから、多くの参加者を集め、活気あふれる講座となった。

表 33 あきんど講座開催実績

開催日	内容・テーマ等	参加者
9月27日 久御山町商工会館 (久御山町)	<講演会> テーマ：「包装紙とリボンで一工夫 明日から使えるラッピング講座」 講師：小西 あつ子氏（ラッピングアソシエート代表）	31名

12月7日 ガレリアかめおか (亀岡市)	<講演会> テーマ:「地域の食材を生かした、ビジネス特集」 講師: 東元 大喜氏(都野菜鹿ヶ谷 野菜ソムリエ) 子安 丈士氏(能勢酒造(株)常務取締役)	23名
3月6日 プラザホテル吉翠苑 (京丹後市)	<講演会> テーマ:「丹の文化について」 講師: 畑 正高氏((株)松栄堂代表取締役社長)	49名
合 計		103名

◇京の空き店舗情報提供

空き店舗情報提供を毎月末に更新、毎月平均 270 件をホームページに掲出。

(<http://www.joho-kyoto.or.jp/~retail/>)

### 3 経営革新・企業の連携・新事業の展開

#### (1) 経営・事業計画

##### ア 中小企業研究開発等応援事業受託事業（京都府受託金）

###### ① 京都府元気印中小企業認定、経営革新計画の承認の支援

平成23年度の元気印認定企業数は19件（平成19年度以降累計106件）、経営革新承認企業数は40件（平成12年1月以降累計514件）であった。

これらの企業のうち、創業間もない企業についてはそのビジネスマッチングへのアドバイスが得られるビジネスモデル創出事業への応募を促進した。

###### ② 経営革新計画の普及・推進

中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律（中小企業新事業活動促進法）の経営革新計画承認申請に関する相談・受付・調査・プレゼンテーション・ブラッシュアップ・審査を実施した。

表 34 相談・受付・調査等の実施実績

相談・指導	申請受付	調査	プレゼンテーション・ブラッシュアップ開催回数	審査会開催回数・案件数
31回	23件	39件	13回	12回・41件

###### ③ 京都府元気印中小企業認定制度の普及・推進

京都府中小企業応援条例に基づく研究開発等事業計画の認定申請（京都府元気印中小企業認定制度）に関する相談・受付・調査・プレゼンテーション・ブラッシュアップ・審査を実施した。

表 35 相談・受付・調査等の実施実績

相談・指導	申請受付	調査	プレゼンテーション・ブラッシュアップ開催回数	審査会開催回数・案件数
9回	8件	18件	6回	6回・18件

##### イ 地域産業研究開発支援事業（特定資産運用益）＜技術顕彰（京都府中小企業技術大賞等）＞

###### 技術顕彰(京都中小企業技術大賞等)の実施

技術や製品の開発等に成果をあげ、京都産業に貢献した府内中小企業及び技術者を京都府中小企業技術大賞、優秀技術賞及び優秀技術者賞として顕彰し、平成24年2月23日に開催した「京都“ぎじゅつ”フォーラム2012」において表彰式を実施した。

表 36 表彰企業

###### ◇ 京都中小企業技術大賞

開発した技術または製品テーマ名	企業名	代表者
再現力のあるオーダーメイド精密臓器シミュレーター	株式会社クロスエフェクト (京都市伏見区)	代表取締役 竹田 正俊

◇京都中小企業優秀技術賞

開発した技術または製品テーマ名	企業名	代表者
マイクロニードル超微細加工技術を応用した次世代化粧品	コスメディ製薬株式会社 (京都市南区)	代表取締役 神山 文男
微細・極小薄板試作部品向け簡易金型製作・試作製造技術の開発	株式会社最上インクス (京都市右京区)	代表取締役社長 鈴木 滋朗
ボイラー用省エネ蒸気圧力調節機「バイソンサイクロン」	内外特殊エンジ株式会社 (京都市南区)	代表取締役 岩見 秀雄
ひび卵検査装置	株式会社ナベル (京都市南区)	代表取締役 南部 邦男
リチウムイオン電池用電極スリッター	株式会社西村製作所 (京都市南区)	代表取締役社長 西村 孝昭
表面活性化大口径半導体ウエハ接合装置	ボンドテック株式会社 (宇治市)	代表取締役社長 山内 朗

◇京都中小企業優秀技術者賞

当該受賞技術の開発に貢献した技術者24名

ウ 地域中小企業知的財産戦略支援事業（特許庁 国庫補助金）

近畿経済産業局の補助事業である「地域中小企業知的財産戦略支援事業」を活用し、知的財産の戦略的活用を目指す中小企業に対し、外国での特許等の出願を支援した。

平成23年度は、6月に公募を行い18件の応募があり、審査の結果、4件を採択し、外国出願に係る経費の一部を助成した。

表 37 外国特許等出願支援実績

企業名	発明の名称	出願の種類	助成金	出願国	出願日
(株)コスモテック	印刷用パウダー散布装置	特許	498,000 円	米国	2012.1.19
				ドイツ	2012.2.10
(株)ニッシン	咬合器	特許	632,967 円	欧州	2012.2.13
				米国	2012.2.13
				中国	2012.2.10
				韓国	2012.2.6
(株)ハッピー	洗濯装置	特許	1,037,682 円	米国	2011.12.20
				欧州	2011.12.16
				カナダ	2011.12.16
				韓国	2011.12.21
				オーストラリア	2011.12.16
				中国	2011.12.13
				シンガポール	2011.12.14
ボンドテック(株)	加圧装置および加圧方法	特許	1,335,363 円	米国	2012.1.24
				欧州	2012.1.27

エ 知恵の経営の推進

京都府知的財産総合サポートセンター事業として一般社団法人京都発明協会が運営する「知

恵の経営」評価・認証の取り組みについて、評価委員会へ出席するとともに、中小企業技術センターと知財、技術、経営のワンストップサービス提供支援を行った。

また、京都商工会議所が取り組む知恵ビジネス推進事業と連携した事業展開を図った。

#### オ 京都経営品質協議会の運営支援（京都経営品質協議会受託金）

京都経営品質協議会

◇ 設立年月日：平成 17 年 9 月 21 日

会員数（平成 24 年 3 月末現在）：89 社（者）

【正会員 80（うち中小・個人 66 その他 14）／特別会員 9】

◇ 事務局：京都府、京都商工会議所、（社）京都工業会、（公財）京都産業 21

表 38 幹事会・運営委員会の開催実績

名 称	開 催 日	参 加	会 場
第 1 回運営委員会	4 月 13 日	10 名	京都府産業支援センター会議室
第 2 回運営委員会	6 月 8 日	11 名	
第 3 回運営委員会	8 月 10 日	12 名	
第 4 回運営委員会	10 月 12 日	10 名	
第 5 回運営委員会	12 月 14 日	13 名	
第 6 回運営委員会	2 月 8 日	10 名	
平成 24 年度定例幹事会	3 月 16 日	21 名	ルビノ京都堀川 朱雀の間

表 39 各種講座等の開催実績

名 称	開催日	会 場	講師等	受講者数
第 1 回経営品質 オープンセミナー	4 月 28 日	ハートピア京都	鬼澤慎人 氏 (NPO 法人茨城県経営品質協議会理事)	155 名
第 2 回経営品質 オープンセミナー	6 月 23 日	メルパルク京都	講演： 西泰宏氏 西精工(株)代表取締役社長 解説、質疑応答： 小島一夫氏 京都経営品質協議会参与	60 名
第 3 回経営品質 オープンセミナー	7 月 23 日	ハイアットリ ージェンシー 京都	講演： 高野登氏 人とホスピタリティ研究所所長 平田大一氏 沖縄県文化観光スポーツ部部長 パネルディスカッション： 大久保寛司氏 人と経営研究所所長	260 名
第 4 回経営品質 オープンセミナー	9 月 7 日	メルパルク京都	講演： 北原秀造氏 (株)スーパーホテル取締役 解説、質疑応答：小島一夫氏	50 名
第 5 回経営品質 オープンセミナー	11 月 17 日	メルパルク京都	講演： 武田敏也氏 京都武田病院院長 解説、質疑応答：小島一夫氏	80 名
第 6 回経営品質 オープンセミナー	1 月 25 日	京都テルサ	坂本光司氏 法政大学大学院 政策創造研究科教授	219 名

第1回テーマ別課題解決コース	6月8日	京都府産業支援センター	森山 祐輔 氏 (株式会社わふわスペース研究所代表取締役)	20名
第2回テーマ別課題解決コース	8月23日	京都府産業支援センター	井上 泰世 氏 (オフィスナチュラリティオーグ代表)	11名
第3回テーマ別課題解決コース	10月13日	京都府産業支援センター	水谷 智子 氏 (株式会社人事部 取締役)	4名
そうだったのか！良くなる経営品質入門セミナー (前期)	6月15、22、29日 7月6、13日	京都府産業支援センター	木村 智 氏 (他京都経営品質協議会運営委員4名)	延べ32名
そうだったのか！良くなる経営品質入門セミナー (後期)	10月5、12、19、26日 11月2日	京都府産業支援センター	木村 智 氏 (他京都経営品質協議会運営委員4名)	延べ66名
先進企業を見て学ぶコース	9月14日	七福醸造株式会社	オリエンテーション： 安倍泰生氏 京都経営品質協議会参与 講演： 犬塚敦統氏 七福醸造株式会社代表取締役会長	31名
人材育成プログラム (経営革新の基礎コース)	7月28日	京都テルサ	森岡 亮一氏 (経営品質協議会インストラクター)	18名
人材育成プログラム (経営評価の基礎コース)	9月2、9、16日	ルビノ京都堀川	田村 均氏 (経営品質協議会インストラクター)	15名
人材育成プログラム (セルフアセスメントコース)	10月19、20、21日	京都テルサ	森岡 亮一氏 (経営品質協議会インストラクター)	12名
マネジメント強化プログラム	12月15、22日 1月18日 2月14日	京都府産業支援センター	山本 知美氏 (ビジネス・コンサルティングフォルテ代表)	7名

京都経営品質協議会ホームページの運営

平成18年5月から独自ホームページを運営 (<http://www.kyo-quality.jp/>)

#### カ 京都品質工学研究会の運営支援 (会員負担金)

効率的な技術開発・製品開発手法である品質工学を普及し、企業における技術開発力を強化するため、京都府中小企業技術センターとの共催により学習会・相談会等を実施した。

表 40 研究会の開催実績

日時	区分	概要	講師	参加
6月9日	例会	講師講演、事例研究	エコムタテクノロジーセンター(株) 芝野広志氏	23名
6月23日	基礎学習会	パラメータ設計 講義と実習	近本武次 京都府特別技術指導員	16名
7月8日	例会	講師講演、事例研究	(有) アイテックインターナショナル 中野恵司氏	23名
9月9日	例会	事例研究、シンポジウム準備	エコムタテクノロジーセンター(株) 芝野広志氏	23名

10月5日	例会	関西地区品質工学シンポジウム（3会合同：関西・滋賀・京都） 基調講演、事例発表（京都 シーシーエス（株）鹿野会員）	22名 全体120名
11月11日	例会	事例研究、新規会員発表	21
12月9日	例会	事例研究、新規会員発表	22
2月10日	例会	事例研究、新規会員発表	22
3月9日	例会	事例研究、新規会員発表	22
		個別課題相談（各例会開催日の午前）	

23年度会員 19社・32名

## （2）起業・創業

### ア 元気企業・旗揚げ促進支援事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

#### ①起業家セミナーの開催

各分野で起業を目指している方、または創業間もない方を対象に、企業経営における課題や問題点等を解決するために、必要なスキルや知識を学ぶとともに、ビジネスプランの作成方法、税務・財務知識など基礎的な知識と実践力をつけることを目的に起業家セミナーを開催した。

また、平成22年度受講者（修了者35名）を対象とした、起業化の状況等についてのアンケート調査の結果、13名（37.1%）が起業しており、着実に成果が認められる。

表41 起業家セミナー開催実績

開講日	内容	講師
10月15日	基調講演(起業成功の原動力は「知恵」と「つながり」！)	増田紀彦氏 (起業支援ネットワークNICe 代表理事)
	ビジネスゲーム体験実習	バトルクレイン・プロジェクト
10月22日	ビジネスプラン策定の前に ビジネスプラン構築の準備	米田 明氏 (コンサルタント)
	ビジネスイメージのプレゼンテーション	
10月29日	会計・税務・会社設立の基礎知識 ビジネスプランを数字で表す	福島重典氏 (税理士)
11月 5日	起業家の広報・宣伝術	松尾裕司氏 (コンサルタント)
	コミュニケーションスキル	藤井美保代氏 (コンサルタント)
11月12日	Web戦略	仲 博司氏 (会社代表)
	知的財産権	小林良平氏 (特許事務所所長)
	品質とコンプライアンス	杉浦紀昭氏 (コンサルタント)
	プレゼンテーションスキル	米田 明氏 (コンサルタント)

11月19日	パネルディスカッション	井上忠男氏 (Kyoto eggs 代表) 他
	起業プレゼンテーション・講評	バトルクレイン・プロジェクト
11月26日	ビジネスゲーム体験実習	バトルクレイン・プロジェクト
	総括	

修了者35名

(22年度本セミナー修了者35名のうち、希望者15名に専門家による個別相談を実施)

## イ ベンチャー支援事業関連診査等の実施

学識経験者、ビジネス・スーパーバイザー、企業財務専門家、法律専門家、行政機関等で構成する「ベンチャー事業可能性評価委員会」（委員長：松波弘之 京都大学名誉教授）を設置し、中小企業技術開発促進事業への提案やけいはんなベンチャーセンター・インキュベーションルーム入居などに関連する審査等を15回実施した。

## (3) 企業連携

### ア 中小企業技術開発促進事業（企業連携型）（京都府補助金）

平成22年度新規事業（京都企業戦略的共同研究推進事業）として創設された事業で、府内中小企業を中心とした共同研究グループが行う技術開発の経費を定額補助することで、製品開発の加速化、早期事業化を図ることを目的に実施した。提案テーマの公募を行い、2年コースに49件、1年コースに27件の応募があり、ベンチャー事業可能性評価委員会による審査を経て、採択事業11テーマを決定した。

Aコース：採択5件（2年 3,000万円～15,000万円／グループ）

Bコース：採択3件（1年 1,000万円～5,000万円／グループ）

Cコース：採択3件（1年 100万円～500万円／グループ）

表 42 中小企業技術開発促進事業（企業連携型）＜平成23年度採択分＞

研究期間 (年)	テーマ名	提案分野	代表企業
			共同研究企業
2	製造事業者の省エネルギーに寄与する革新的エア駆動装置の製品化	環境・エネルギー	NKE(株) (株)坂製作所
2	高精度検卵情報を活用した種鶏農場・孵卵場向け商品化効率向上システムの開発	ライフサイエンス・ウェルネス	(株)ナベル (株)ヤマモト
2	ダチョウ抗体を用いた機能性化粧品の開発	ライフサイエンス・ウェルネス	オーストリッチファーマ(株) オーストリッチファクトリー(株)
2	高精度樹脂メッシュを用いた医療用携帯型吸入器の実用化研究開発	ライフサイエンス・ウェルネス	NNI(株) オムロンヘルスケア(株) (交付対象外)
2	多孔体金属箔ヒーターを用いた浮遊細菌の熱焼却式滅菌装置の製品化に向けた研究開発	環境・エネルギー	オパーツ(株) (株)山口製作所

1	電子スピン共鳴装置高感度・高精度サンプルユニットの技術開発と事業化	試作	(有)木村技研
			(株)テクノアイ
			(株)クロスエフェクト (交付対象外)
1	モニター色測定器「プリズモモニタ(仮称)」の製品化	ICT・コンテンツ	(株)扶桑プレシジョン 山本精工(株)
1	肌・頭皮画像解析に基づく美容ソーシャルネットワーク構築のための技術開発	ICT・コンテンツ	(株)洛洛.com
			(株)知能情報システム
1	食塩摂取による血圧上昇の心配ない新規京漬物の開発	地域活性化試作枠	(株)もり
			(株)本田味噌本店
1	未利用資源である茶制枝クズの製品化、及び本製品給与による豚肉ブランド化に向けた技術開発	地域活性化試作枠	(株)栄養・病理学研究所
			(有)日吉ファーム
			豊橋飼料(株) (交付対象外)
1	安全・安心・有益な“生おから・乾燥醤油粕混合飼料”の開発	地域活性化試作枠	(株)京都庵
			(株)高田商店 (交付対象外)

表 43 京都企業戦略的共同研究推進事業<平成22年度採択分>

研究期間 (年)	テーマ名	提案分野	代表企業
			共同研究企業
2	関節軟骨の再生治療に用いる培養細胞の非接触式成熟度評価装置の開発研究	ライフサイエンス	(株)ウミヒラ
			堤総研(株)
2	短納期・オーダーメイドの精密心臓シミュレータの開発と事業化	ライフサイエンス	(株)クロスエフェクト
			(株)三笑堂
2	酸化チタンの超高速触媒反応を用いた有機物完全分解による安全な小型廃棄物処理装置	環境・エネルギー	JOHNAN(株)
			ハイデック(株)
2	次世代太陽電池用のフレキシブル透明電極材料の製品化に向けた研究開発	環境・エネルギー	中沼アートスクリーン(株)
			尾池工業(株)
2	チタン合金小径シームレスパイプ量産技術の確立と分析・医療機器への商品展開	ライフサイエンス	二九精密機械工業(株)
			フジオプチカル(株) (交付対象外)
1	世界戦略型太陽電池セル高精度・高生産性品質検査装置の製品化	環境・エネルギー	共進電機(株)
			(株)秋田製作所

また、共同研究推進コーディネーター4名を設置して、府内企業による共同研究テーマの掘り起こし及びプロジェクト推進を支援するとともに、京都企業の新たな共同研究の促進を図るための会員制ネットワーク（企業情報、シーズ情報、ニーズ情報のポータルサイト及びコミュニケーションサイト）として、京都イノベーション創出ネットワーク（KIC-Net）を

構築し、府内企業等による情報交流の場として、活用（参加登録）促進を図り、KIC-Net 会員企業を対象に、新たな共同研究テーマに関する可能性検証の取組（12 テーマ採択 1 テーマ/100 万円以内）に対して支援を行った。

## イ KIIC（京都産業創造クラブ）事業（正会員会費）

KIIC 会員等企業グループによるテーマ別研究会、会員交流の推進

会員の研究活動を通じて企業間の連携を図り、新事業への進出をバックアップするとともに、KIIC（京都産業創造クラブ）会員が自主的に行う研究会活動の運営を支援した。

表 44 グループ研究会活動

事業名	交流会名	内容・参加企業数など
研究会 事業	きょうとマーケティング研究会	参加会員の経営戦略を事例に会員相互の討議を通して、新しい気付きを発見するとともにマーケティングについて研究し、自社の経営に活かすことを目的に活動。（17 社）
	ライフサイエンス研究会	「環境」と「ライフサイエンス」をキーワードに商品開発を目指す研究会。芍薬を活用した商品開発に取り組む。（4 社）
	Kyoohoo	京都伝統産業系企業を中心に新商品開発、新市場開拓を目指す研究会。
	JFK・EUプロジェクト 上海プロジェクト	海外で売れる「ものづくり」を目指し「新市場の開拓」と「京都ブランド」の開発を行う研究会（参加 12 社）。 展示会としては、4月にフィレンツェ市で開催された「国際工芸見本市（Artigianato）」へ 5 回目の出展、7月にはパリで開催された JAPAN EXPO、8月及び2月にはニューヨークギフトフェアへ出展。 また、京都造形芸術大学との産学連携事業として昨年引き続き商品開発を行うとともに、上海ギフトショー及び上海伊勢丹での物産展に参加。
	きょうとWEBショップ研究会	会員が運営するネットショップに関して、サイトのグレードアップ、上位検索、成約率の向上を図るため、ネットビジネスの最近の動向、SEO対策などについて、会員相互の情報交換・啓発の取組を行い、全会員“本気”で月商500万円以上を目指して取り組むことを目標とする研究会。（10 社） 研究会を5回開催（7月～2月）。
	京都 人間力を高める会	経営者一人ひとりの人間力を充実させ、経営者同士がお互いの経営の資質を高めあうことを目指す研究会。（11 社） 中小企業の後継者を中心に会員同士が切磋琢磨し、共に学び、共に成長することで、経営者としての知恵・知識・精神力・人間性を高める。そして、「中小企業の自立」を目指す。
	京都MFCA研究会	中小企業が、製造工程における原材料やエネルギーの無駄を低減し資源の有効活用を図ることで、コストダウンと環境負荷低減を同時に実現するため、「マテリアルフローコスト会計（MFCA）」を活用した企業活動における環境負荷低減と経営力強化へ向けた京都モデルの創出を図り、中長期的な導入を支援する研究会。

会員交流事業

K I I C会員の情報交換、交流の場を提供することで、新産業創出につながるフォーメーション形成のための環境づくりを目的として講演会・交流会を開催するとともに、会員外の企業にも参加を呼び掛け、加入促進を図った。

日 時 平成23年11月8日（火） 16:00～19:00

会 場 講演会 京都リサーチパーク 1号館4階 AV会議室

交流・懇親会 京都リサーチパーク 1号館1階 レストラン「PATIO」

内 容 第1部 施策説明会

・講 師 水田須美男 氏（京都府商工労働観光部総合就業支援室 参事）

・テーマ 「京都府の障害者雇用施策について」

第2部 講演会

・講 師 垣内俊哉 氏（株）ミライロ 代表取締役社長）

・テーマ 「ビジネスにおけるバリアフリーの可能性と経済性」

参加者 72名

ウ 異業種交流推進事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金、京都府異業種交流協議会 異業種交流事業受託金）

①京都府異業種交流会連絡会議（30グループ）の運営支援

京都府異業種交流会連絡会議の事務局として、事業運営を支援するとともに、企業間連携をはじめ、産学連携、農商工連携によるビジネスの推進を支援した。

表 45 第15回異業種京都まつりの開催

開催日・会場	内 容	参加者
平成23年10月13日 京都全日空ホテル	テーブル交流会 83小間（101企業・団体・大学） 基調講演 テーマ：「市場開拓から始まった地域づくり」 講 師：馬路村農業協同組合 代表理事組合長 東谷 望史 氏 地域資源・農商工連携・新連携等認定事業者プレゼンテーション、交流懇親会 他	1,000名

表 46 異業種交流グループ交流会の開催

開催日・会場	内 容	参加者
平成24年3月27日 京都府産業支援センター 研修室	グループ交流会（17グループ） グループ紹介、意見交換 グループディスカッション テーマ：異業種グループの活動状況について （具体的内容） ○例会の開催頻度・内容、例会でよく出る話 ○例会以外の活動状況 ○前記の内容を踏まえた今後の方向性 交流懇親会他	32名

## ②グループ活動への支援

既存の企業グループによる研修や交流などの自主的な活動を支援した。グループにより規模や事業内容に違いがあるが、企業同士の連携の強化や経営知識の習得、経営の改善など、経営向上につながるなど成果を上げている。

### ◇京都産業21<sup>リング</sup>環の会（KSR）の活動支援

交流事業及び企業連携によるグループ活動を主な事業とするKSR（会員数 202 社）の運営を支援。

表 47 KSR交流事業の実施状況

開催日・会場	内 容	参加者
6月17日（金） 京都センチュリーホテル	KSR定期総会 記念講演会 テーマ：ドラッカーから学ぶ『顧客価値創造』のススメ 講 師：アイオー総研 所長 今成淳一 氏	73名
9月1日（木） （株）クロスエフェクト	夏のキラメキ交流サロン テーマ：心臓開発・医・工 連携イノベーション・ 進出するのは欧・米！ 講 師：（株）クロスエフェクト 代表取締役 竹田正俊 氏	25名
10月14日（金） 京都府産業支援センター	秋のキラメキ交流サロン テーマ：書家俵越山氏による講演と書道塾「書」 で想いを表現する 講 師：書家 俵 越山 氏	16名
11月15日（火） 綾部市睦寄古屋地区	北部交流事業 テーマ：笑顔がもどった古里 講 師：栃神伝説水源の里・古屋 代表 渡邊和重 氏	15名
12月7日（金） 生田産機工業（株）	冬のキラメキ交流サロン テーマ：生田産機工業（株）新社屋見学、食堂『風 のとき』のオープンについて 講 師：生田産機工業（株） 代表取締役 生田 泰宏 氏 （有）エスアールフードプロデュース 代表取締役 齋藤三映子 氏	15名

表 48 KSRグループ活動概要

グループ名	活 動 概 要
F2Hグループ	9月より、『「森・食・人」を元気にする』を掲げ、「F2Hグループ」として新しく活動を始めた。 F2Hとは、Forest（森）、Food（食）、Human（人）の頭文字を取り、これらを元気にする取り組みを考えながら、新しいビジネスモデルの構築と実現を目的としている。

プロモーションサービスグループ	京都の小さい企業だからこそできる販売促進を研究しながら、実践し続けている。
食の事業化グループ	「食」の在り方を考え、生産・加工・販売までの農の事業化を目指して活動している。
知恵の会2グループ	昨年9月に「知恵の会」として京都府の認証を得た企業が、それぞれリーダーとサブリーダーに就任し、新しい参加者を募って7月から11社で再始動した。 数値化できない知的資産を可視化して報告書にまとめる「知恵の経営」に取り組み、自社の企業価値の向上を図ることを目的として活動。
社会貢献グループ	今年度、「社会貢献グループ（旧・若年就労支援グループ）」へと名称を変更し、より視野を広めて外部のボランティア団体とも連携しながら活動している。 京都の産業に役立つ活動や、地域を元気にして行く活動を中心に、また『企業の社会的責任』も意識しながら取り組みを進めている。

◇その他のグループ活動支援

「京都マネジメント研究会」「キセイレン経営基盤強化研究会（K4）」「北部機械金属研究会」等の中小企業グループに対して、ものづくり現場の改善活動や農商工連携の研究のための現地視察等について支援を行った。

表 49 グループ活動支援の実績

グループ名	活動支援
京都マネジメント研究会	現場改善をテーマとする中小企業グループ（9社）による研究会活動を支援。 ・5S-5T研究会（年6回、メンバー企業において開催） ・トップ交流会（年2回、メンバー企業のトップによる情報交換会を開催） ・中国上海市視察訪問（工場見学）
K4（キセイレン経営基盤強化研究部会）	昨年度に、農商工連携によって開発した製品「舞粉はん」を基に、シミュレーション型営業・販売のケーススタディに取り組み、「舞粉はん」を京都農業ビジネス応援フェア2012」に出展し新たな引き合いがあった。 講師を招いての例会（3回）を含む計7回開催。
北部機械金属研究会	「連絡が取り合える仲間を増やす」を重点活動として取り組んだ。 研修会：平成23年7月15日（金） 「大手企業の経営を学ぶ」を会員企業及びKSR北部会員において開催。 企業見学： 平成24年3月2日（金） 花王(株) 花王エコラボミュージアム 北部交流会（KSR北部交流会）： 平成23年11月25日（火） 綾部市古屋公民館 委員会の開催（3回） 活動方針及び情報交換

## エ 京の職人グループ販路開拓支援事業 (京都府補助金 京の職人グループ販路開拓支援事業補助金)

### 京都伝統産業協働バンクの運営支援

伝統産業関連企業のイノベーションを促進するとともに、企業間連携の推進を支援するため平成19年度に創設した「京都伝統産業協働バンク」(参加96企業)の運営を支援した。

平成23年度は、伝産バンク及び修理ネットの知名度の向上と受注増を図るため、首都圏等における展示会への出展、無料修理相談会の実施並びに広報宣伝物の製作等による情報発信に取り組んだ。

また、バンク参加企業による自主活動グループで、工芸品修理・修復に特化した企業グループ「京都職人修理ネット」では、京都試作センター株式会社と連携し、工芸品の“お直し”の需要に対応し、具体的な受注(平成23年度実績:相談件数155件、成約件数50件、成約金額8,677千円)が増加しつつある。

### ◇展示会等への出展状況

- ・東京インターナショナルギフトショー2011秋  
開催日・場所:平成23年9月6日～9日・東京ビッグサイト  
出展内容等:京人形、茶道具、京漆器を用いた名刺入れ、染付の陶器、扇子などの小物、伝産バンクの工房等が連携して製作したティッシュケースカバーなどを展示  
伝産バンクの工房の作品を紹介するカードを製作し配付  
伝産バンク、修理ネットを紹介するリーフレットを配布  
商談件数:150件
- ・第15回異業種京都まつり  
開催日・場所:平成23年10月13日・京都全日空ホテル  
出展内容等:12工房が出展し、工芸技術をPR
- ・京都ものづくりフェア2011  
開催日・場所:平成23年11月12日～13日・京都パルスプラザ  
出展内容等:京友禅(染色補正)の工程を説明するパネル展示及びシミ落としの実演  
京友禅、京扇子作品の展示
- ・京都ビジネス交流フェア2012  
開催日・場所:平成24年2月23日～24日・京都パルスプラザ  
出展内容等:染付の陶器、扇子などの小物を展示  
伝統産業と連携した製品づくりをPR

### ◇無料修理相談会等の状況

- ・定例無料相談会  
毎月第4水曜日に京都試作センター(株)において実施。  
実施回数:6回 問合せ件数 49件  
受注件数:8件  
受注額:746千円
- ・京都府南部出張無料修理相談会  
開催日・場所:平成23年7月21日  
けいはんなプラザ(第6回けいはんなビジネスメッセ会場)

- 商談結果：相談3件 受注1件 受注額90千円
- ・京都府北部出張無料修理相談会  
開催日・場所：平成23年11月5日～6日・旧三上家住宅（宮津市）  
来場者数：15人  
商談結果：相談15件 受注7件 受注額464千円
  - ・兵庫県姫路市出張無料修理相談会  
開催日・場所：平成24年1月21日、22日、28日、29日・姫路 山陽百貨店  
来場者数：15人  
商談結果：相談15件 受注6件 受注額 732千円

◇広報宣伝

- ・修理ネット広報リーフレットの増刷及び配布  
広報リーフレットの増刷：5000部（当財団情報誌3月号に同封し。配布）
- ・ホームページからの受注獲得  
独自ホームページ（<http://densanbank.net/syuri/>）の受注獲得増を図るため、検索エンジン最適化を図り、キーワードの追加、HTML マークアップの見直し、アクセス解析設定、Webページの更新等業務などユーザーアクセス対策を行った。

(4) 産学公連携

ア 交流連携促進事業

産学・企業間連携ニーズ調査の実施

府内の製品開発型と思われる中小企業を対象に、企業訪問等により経営課題、産学・産産連携志向、ポストク採用意向などのニーズ情報を収集し、製品開発型企業のデータベースを構築するとともに、KIC-Net（京都イノベーション創出ネットワーク）への登録勧奨や関連施策の活用促進を図った。

また、製品開発型企業データベース登録企業のオープンイノベーションや販路開拓を促進するため、平成24年2月に「製品開発型京都企業ガイドブックVer. 1」（53社掲載）を作成し、京都ビジネス交流フェア（きょうと連携交流ひろば）などで170部を配布した。

調査対象 339社 訪問数 188社（累計 257社）

イ 産学公連携研究開発資金支援事業（京都府補助金 産学公連携研究開発資金支援事業補助金）

中小企業技術開発促進事業〈産学公連携型〉（平成23年度）、グローバル産学公研究開発成果展開事業（平成22年度採択）

平成23年度は6件の応募があり、「ベンチャー事業可能性評価委員会」の審査を経て、2件を採択した。また、平成22年度に採択したグローバル産学公研究開発成果展開事業については、2カ年目の事業を実施した。

表 50 グローバル産学公研究開発成果展開事業（平成22年度採択分：環境・ライフサイエンス分野）

提案企業	テーマ	連携研究機関
株式会社イー・ピー・アイ （京都市）	リユースを目的としたテープ状部品供給システムに関する研究開発	京都工芸繊維大学

(株)エイコム（京都市）	新型ペプチドサンプリングシステムの開発	大阪大学
--------------	---------------------	------

（注）支援期間2カ年（22年度・23年度）、支援助成額3千万円以内

表51 中小企業技術開発促進事業〈産学公連携型〉（平成23年度採択分）

提案企業	テーマ	連携研究機関
(株)カーボテック（京都市）	国内バイオマスを原料とする水道用活性炭の研究開発。	群馬大学 京都府立大学 滋賀県東北部工業技術センター
(株)タナベ（京都市）	設置場所を選ばない長寿命自発光ボード・ウェルネスタイプの製品化	京都工芸繊維大学

（注）支援期間2カ年（23年度・24年度）、支援助成額3千万円以内

ウ (独) 科学技術振興機構（JST）研究成果最適展開支援事業（A-STEP）本格研究開発「起業挑戦タイプ」事業への支援

課題名	「新規γ-グルタミルトランスペプチダーゼ（GGT）阻害剤によって引き起こされる細胞内コラーゲン産生の応用」
研究主体	京都大学化学研究所 平竹 潤 教授
起業家	京都大学化学研究所 松本 和男 フェロー

財団は側面支援機関として参画し、事業の円滑な推進及びベンチャー企業の立ち上げを支援した結果、平成24年3月2日には、京都大学・大阪市立大学発ベンチャーとして、「株式会社ナルスコーポレーション」が設立され、具体的なビジネスを開始した。

(5) 試作産業総合支援事業（京都府補助金 試作産業総合支援事業費補助金）

ア 試作パートナー企業グループの育成

表52 試作パートナー企業グループの状況

グループ名	企業数	試作分野
京都試作ネット	20社	機械金属加工
京都でんき試作ねっと	7社	電気関係
アルフォース	9社	アルミ加工
京都せんい試作ねっと	5社	繊維・縫製加工関係
京都制御ソフト工場	11社	制御システム関係
北京都大物試作ネットワーク	11社	大型機械加工、プラント
京都伝統工芸試作ねっと	11社	伝統工芸関係
洛中千職一新工芸試作一	4社	伝統工芸関係
丹後試作隊	10社	機械金属加工
京都治具ソリューションネット	9社	治具・自動機関係
合計 10グループ	97社	

※現在、引き続き、新たな試作グループ（京都デザインモデルグループ）の形成を支援している。

#### イ 試作グループ連絡会議等の開催

本年度より、連絡会議を試作グループ代表者会議に改め、京都試作プラットフォームを構成する各試作グループの各代表による会議を開催し、第3ステージを迎える京都試作プラットフォームの在るべき姿を模索した。

また、同時に京都試作センター(株)を中心として試作プラットフォーム一丸となったPRを強力に実施するため展示会プロジェクトを編成し、取り組んだ。

- ◇京都試作プラットフォーム代表者会議 10回開催
- ◇京都試作プラットフォーム展示会プロジェクト会議 12回開催
- ◇京都試作産業推進会議 1回開催

日時：平成24年2月23日（木）11:15～12:00

場所：京都府総合見本市会館 5階第4会議室

内容：京都試作産業推進の取組状況、京都試作センター(株)の活動状況、試作グループの状況（受注実績）、今後の予定等

#### ウ 試作サポーターによる技術力・受注力向上の支援

試作サポーター（1名）設置し、京都試作センター(株)へ派遣。試作プラットフォーム参画企業の技術力・受注力向上に向けた支援を行うとともに、試作プラットフォームのPRを行い、試作新市場開拓の支援を行った。

◇試作サポーター（1名）の活動状況

- ・企業訪問件数：212件
- ・引き合い案件支援

（内訳）

引き合い案件処理数	74件
引き合い案件金額	124,419千円
引き合い成約案件金額	51,256千円

- ・展示会へのアテンド等

第22回設計・製造ソリューション展

（平成23年6月22日～24日＜東京ビッグサイト＞）

シーテックジャパン2011

（平成23年10月4日～8日＜幕張メッセ＞）

京都異業種京都まつり

（平成23年10月13日＜全日空ホテル京都＞）

関西ものづくり企業と日産自動車(株)とのビジネスマッチング交流会

（平成24年1月26日～27日＜日産自動車(株)：神奈川県厚木市＞）

第3回量産・試作加工技術展

（平成24年2月29日～3月2日＜東京ビッグサイト＞）

京都ビジネス交流フェア2012 in 「試作横丁」

（平成24年2月23日～24日＜京都パルスプラザ＞）

#### エ 試作新市場開拓の支援

京都試作センター(株)を中心として、展示会プロジェクトチームを編成して、展示会出展に

取組み、京都試作プラットフォームに参画する試作グループが一体となって、「京都試作」のブランドをアピールするため展示等に出展した。本年度は特に、京都ビジネス交流フェア2012の同時開催イベント「京都試作フォーラム2012」の一環として「試作横丁（試作グループによる共同出展コーナー）」を設置し出展した。

#### ◇展示会等出展状況

##### 第22回設計・製造ソリューション展

開催期間・場所：平成23年6月22日～24日・東京ビッグサイト

出展者：京都試作プラットフォーム

京都試作センター(株)、京都試作ネット、京都でんき試作ネット、丹後試作隊

商談結果：名刺受取枚数 84枚

商談数 2件

成約数 1件（初回取引金額 1,500千円）

##### シーテックジャパン2011

開催期間・場所：平成23年10月4日～8日・幕張メッセ

出展者：京都試作プラットフォーム

京都試作センター(株)、京都試作ネット、京都でんき試作ネット

商談結果：名刺受取枚数 178枚

商談数 10件

成約数 3件（初回取引金額 6,320千円）

##### 京都ビジネス交流フェア2012 in 「試作横丁」

開催期間・場所：平成24年2月23日～24日・京都パルスプラザ

出展者：京都試作プラットフォーム

京都試作センター(株)、京都試作ネット、京都でんき試作ネット、京都制御ソフト工場、アルフォース、北京都大物試作ネットワーク、丹後試作隊、京都伝統工芸試作ねっと、洛中千職-新工芸試作-京都せんい試作ねっと、京都治具ソリューションネット

商談結果：名刺受取枚数 約50枚

※商談結果等については調査中

##### 第3回量産・試作加工技術展

開催期間・場所：平成24年2月29日～3月2日・東京ビッグサイト

出展者：京都試作プラットフォーム

京都試作センター(株)、京都試作ネット、京都でんき試作ネット

商談結果：名刺受取枚数 87枚

※商談結果等については調査中

#### ◇その他

##### 京都試作フォーラム2012の開催

日時：平成24年2月23日（木）13:30～16:30

場所：京都パルスプラザ 稲盛ホール

来場者：230名

内容：

基調講演

テーマ：「無限に広がる SHISAKU の可能性～ストップ・ザ・空洞化!!～」

講師：中村智彦 氏（神戸国際大学経済学部教授）

事例紹介・(株)衣川製作所 衣川隆文 氏（京都試作ネット）  
・共進電機(株) 小島久嗣 氏（京都でんき試作ねっと）

パネルディスカッション

テーマ：「京都試作プラットフォームの新たなステージに向けた展望」

【パネラー】中村 智彦 氏 神戸国際大学経済学部教授

上田 温之 氏 京都試作センター(株) 代表取締役社長

鈴木 三朗 氏 京都試作グループ代表者会議 代表

／(株)最上インクス 代表取締役会長

竹田 正俊 氏 京都試作ネット代表理事

／(株)クロスエフェクト 代表取締役

南郷 真 氏 中途半端ネット代表

／(株)ナンゴー 代表取締役

【コーディネーター】 山下 晃正 氏 京都府 企画理事

## (6) 新産業育成・地域振興

### ア 京都元気な地域づくり応援ファンド事業（京都府借入金及び地元金融機関等借入金運用益）

きょうと元気な地域づくり応援ファンドによる府内地域資源の活用事業、コミュニティビジネス支援

平成 20 年度に造成した「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」（総額 50 億円）の運用益を活用し、地域力の再生につながる新しいビジネスを支援する助成を実施した。

平成 23 年 3～4 月に公募を行い、府内全域から 157 件の応募があり、審査の結果 50 件を助成対象事業者として採択した。

また、採択事業者について、専門家による継続的なハンズオン支援事業（申請者に対する専門家による指導）を実施するとともに、採択事業者からの成果発表を中心としたファンド経営塾を 2 回開催した。ファンド経営塾は、各企業の貴重な経営ノウハウを公開する場となり、好評を博した。

さらに、交付決定日以降、採択事業者あてに、各事業者の活躍を中心に情報共有を図るメールマガジンを配信し、モラールアップを図った。

#### ◇助成事業の募集

3 月 14 日から 4 月 28 日まで京都府の各広域振興局及び当財団で、計 157 件の申請を受付。

#### ◇助成事業の採択

応募多数のため審査委員による書類選考を行い、引き続き 3 回の審査委員会において 78 事業者からプレゼンテーションを受け、50 事業者を採択。

助成総額は 72,800 千円。

#### ◇ハンズオン支援事業の実施

4 月に 4 回の申請準備支援会（専門家による指導）を実施。また、101 件の採択事業者支援を実施

◇ファンド経営塾の開催

回	開催日	開催場所	テーマ・講師
第1回	10月21日	京都府産業支援センター	「伝統商品から新しい付加価値へ 胡粉ネイル誕生から販売まで」 上羽絵惣株式会社 石田取締役
第2回	11月22日	京都府産業支援センター	「小売・サービス業のためのマーケティング 研修」 株式会社ジュノー 木村代表取締役

◇イベント出展 異業種京都まつり

開催日：平成23年10月13日（木）

場 所：京都全日空ホテル

内 容：テーブル交流会

きょうと連携交流ひろば2012

開催日：平成24年2月23日（木）、24日（金）

場 所：京都パルスプラザ

内 容：地域資源活用等に取り組むファンド企業による商品展示

イ きょうと農商工連携応援ファンド事業（京都府借入金及び地元金融機関等借入金運用益）

「きょうと農商工連携応援ファンド(25.2億円)」の運用益を活用し、農林水産業者と中小企業者が連携して、新たに取り組むビジネスを支援するための助成を行った。

平成23年度は、3月から公募を行い、21件の応募があり、審査の結果14件の助成対象事業を採択した。採択企業に対しては、イベント等の情報提供と併せてハンズオン支援を行った。

助成総額 33,600千円

①ハンズオン支援 専門家派遣 延べ9件

②イベント出展 異業種京都まつり

開催日：平成23年10月13日（木）

場 所：京都全日空ホテル

内 容：テーブル交流会、農商工連携認定者のプレゼン、連携支援相談  
コーナー設置など

京都府農林水産フェスティバル2011

開催日：平成23年11月26日（土）、27日（日）

場 所：京都パルスプラザ

内 容：農商工連携商品のPR、販売

きょうと農業ビジネス応援フェア2011

開催日：平成23年12月16日（金）

場 所：京都市勧業館みやこめっせ

内 容：講演会・展示商談会の実施

きょうと連携交流ひろば2012

開催日：平成24年2月23日（木）、24日（金）

場 所：京都パルスプラザ

内 容：農商工連携ゾーンの設置し商品展示、試食、販売、商談会を実施

「京のふるさと出会い市」 駅ナカでの販売研修の実施

「ぶらり嵐山」 アンテナショップコーナーでの試作販売

#### ウ 農商工等連携支援事業の支援

平成 20 年 7 月に施行された「農商工等連携促進法」に基づき、中小企業者と農林漁業者が連携して行う取り組みに対して、関連諸施策の広報・普及と相談対応、認定企業のフォローアップを行い、意欲的な中小企業者と農林漁業者の取り組みを支援した。

事業計画の認定件数 京都府 17 件

#### エ けいはんなベンチャーソフト支援事業（京都府補助金 京都成長促進等総合支援事業補助金）

表 53 交流会等開催実績

区 分	実施日	内 容	参加者
けいはんな技術交流会	9月15日	けいはんな地域進出企業・研究機関との交流（講演及び工場見学） タカコ（株）[本社精華町]滋賀工場 「他社には真似のできない『モノづくり』へのこだわり」 取締役相談役（創業者）石崎義公 参加者プレゼン：京都でんき試作ねっと 京都制御ソフト工場	53 名
同志社大学けいはんな産学交流会	7月27日	同志社大学京田辺キャンパスと府南部地域企業等との交流 研究シーズ発表 「構造用バルクナノ結晶材料の開発」 同志社大学理工学部 教授 宮本博之 「調和組織制御による高機能材料の開発」 同志社大学理工学部 准教授 藤原弘 参加企業プレゼン：日本伸縮管（株） マルホ発條工業（株） 二九精密機械工業（株）	61 名
第 1 回京都大学宇治キャンパス産学交流会	6月30日	京大宇治キャンパス・エネルギー理工学研究所と府南部地域企業等との交流 「超極歳分子細線でデバイスを創る」 京大I社片 -理工学研究所教授 坂口浩司 「高強度・高靱性多孔質 SiC」 京大エネルギー理工学研究所准教授 檜木達也 参加企業プレゼン：(株)イオンテクノセンター 朝日レントゲン工業(株) 施設見学：自由電子レーザー、プラズマ装置等	62 名

第2回京都大学宇治キャンパス産学交流会	10月19日	京大宇治キャンパス生存圏研究所と府南部地域企業等との交流 「化石資源に依存しない安全・安心な木材」 京大生存圏研究所 准教授 梅村研二 「未来の自動車は植物で創る—セルロースナノファイバーで見る夢」 京大生存圏研究所 教授 矢野浩之 参加企業プレゼン：(株)丹宇、互応化学工業(株) 施設見学：材鑑調査室、木質ホール等	59名
第3回京都大学宇治キャンパス産学交流会	12月16日	京大宇治キャンパス防災研究所と府南部地域企業等との交流 「地震液化化被害のシミュレーションにおける産学交流」 京大防災研究所 教授 井合進 「大震災の教訓を生かした津波氾濫挙動の予測手法」 京大防災研究所 准教授 米山望 参加企業プレゼン：(株)ディー・イー・シー、(株)京都福田 施設見学：遠心力载荷実験装置等	33名
第4回京都大学宇治キャンパス産学交流会	2月21日	京大宇治キャンパス化学研究所と府南部地域企業等との交流 「レーザーの原理と光の特徴」 京大化学研究所 教授 阪部周二 「レーザー産業応用の現状と将来展望」 京大化学研究所 准教授 橋田昌樹 参加企業プレゼン：(株)オプトシステム ナカガワ胡粉絵具(株) 施設見学：レーザー物質科学研究室等	72名
けいはんなフロンティア産業フォーラム 2011～新エネルギー(次世代太陽光発電・燃料電池)が拓くこれからの社会	12月9日	「安心・安全なエネルギー世界を目指して」 大阪大学名誉教授 柳田祥三 「次世代有機系太陽電池開発の未来」 東京大学先端科学技術研究センター教授 瀬川浩司 「固体酸化物形燃料電池(SOFC)実用化への期待」 京都大学大学院工学研究科教授 江口浩一 企業プレゼン：(株)アップラス・システム、中嶋金属(株)	108名
産業財産権相談会(けいはんなプラザ)	9月16日 3月16日	弁理士による特許等個別相談会	6企業

専門家派遣(6企業/10回、税理士・弁護士・中小企業診断士等を派遣)

オ 京都環境ナノクラスター業務受託事業（財団法人京都高度技術研究所受託金）

◇けいはんな分

区 分	実施日	内 容	参加者等
地域イノベーションプログラム「京都・環境ナノクラスター」（「石灰を活用した植物廃油の効率的なバイオディーゼルへの転換」等けいはんな地域における研究開発課題の事業化推進等）	月1回開催	月例会議（けいはんなフォーラム）、毎月月次報告、3月に年次報告	各約10名
	9月21～22日	国際フロンティア産業メッセ2011（神戸国際展示場）出展	約17,000名
	9月21～22日	イノベーション・ジャパン2011—大学見本市（東京国際フォーラム）出展	約30,000名
	10月13日	東海広域ナノものづくりクラスター事業成果発表会（名古屋市）参加	約300名
	11月1日～2日	全国イノベーション・イネテック2011 in 仙台	約250名
	12月5日～7日	第6回再生可能エネルギー世界展示会出展（幕張メッセ）	約4,500名
	2月15日～17日	「nano tech2012」（東京ビッグサイト）	約5,000名
		けいはんなフロンティア産業フォーラム（12/9）等で事業を広報	

◇連携推進部分

区 分	実施日	内 容	参加者
地域イノベーション戦略支援プログラム（グローバル型）「京都環境ナノクラスター」（「燃料電池触媒合成・燃料電池用電解質合成、リチウムイオン電池電極活物質合成」等の技術を通じ、けいはんな地域における研究開発課題の事業化推進）	月1回開催	企画推進委員会（京都高度技術研究所）	各約35名
	7月11日	第4回京都環境ナノクラスター事業推進協議会（京都ブライトンホテル）	約40名
	12月15日	京都環境ナノクラスター評価委員会（KRP）	約30名
	1月24日	「ナノ材料の安全性・社会受容に関するシンポジウム」（KRP）	約80名
	2月8日	平成23年度京都環境ナノクラスターフォーラム（KRP）	約200名

カ けいはんな・南部地域支援事業

京都府中小企業技術センターけいはんな分室、京都府山城広域振興局、けいはんな新産業創出交流センター等と連携し、学研都市地域における産学連携・産産連携を推進した。また、けいはんな地域・南部地域の企業ニーズの把握を行う中で、各種助成金の共同申請、経営革新計画等の認定推進等の支援を行った。

◇「けいはんなビジネスメッセ（7月21日）」、「京都ビジネス交流フェア2012・インキュ

- バートの都コーナー」(2月23～24日)、中小企業総合展(5月25～27日)等で販売促進・ビジネス交流等を支援。
- ◇京都府・当財団の助成事業及び委託事業(きょうと元気な地域づくり応援ファンドによる支援事業、京都中小企業研究開発促進事業等)助成金申請支援、京都府中小企業応援条例による元気印企業・経営革新計画認定の申請支援。
    - ・京都中小企業研究開発促進事業(産産連携)2社採択
      - オパーツ(株):「多孔体金属箔ヒーターを用いた浮遊細菌の熱焼却式滅菌装置の製品化」
      - オーストリッチファーマ(株):「ダチョウ抗体を用いた機能性化粧品の開発」
    - ・販路開拓支援の下支え助成金補助—5社
    - ・事業化可能性補助金—2社 等
  - ◇入居企業・卒業企業等による自主的連携・交流グループ(約15社)「けいはんなラボコミュニティ」の月例会等で当財団の支援事業等を紹介。当グループの紹介パンフの作成
  - ◇メールマガジンによる補助金・経営等に関する情報提供(週2～3回)
    - 「クリエイティブ京都M&T」での企業紹介<オパーツ(株)、ボンドテック(株)>
  - ◇京都中小企業技術大賞への推薦
    - ボンドテック(株)が「表面活性化大口径半導体ウェル-接合装置」で優秀技術賞を受賞
  - ◇関西IMネットワーク協議会、京都産学公連携機構、(独)中小企業基盤整備機構運営インキュベーション(神奈川・福岡等)などとの連携・交流を推進
  - ◇新聞、テレビ、行政の広報紙等を通じて、入居企業の技術・製品等をPR
  - ◇戦略的基盤技術高度化支援事業(経済産業省委託事業)
    - 「大型表示パネル用3Dセンサーの高精細化・高機能化」の補完研究推進支援(H21年度採択、委託金額約3,200万円の補完研究推進(有)イーダブルシステム、日本電気化学(株)、ゼネラル(株))

表54 山城ものづくり企業オンリーワン倶楽部

区分	実施日	内容	参加者
山城ものづくり企業オンリーワン倶楽部事業 (参加企業47社)	11月24日	キックオフミーティング 設置要綱・活動計画の承認、参加者紹介	51名
	1月25日	第2回交流連携サロン 講演「京都大学の産官学連携について」 京都大学産学官連携本部長 牧野圭祐 企業プレゼン:木下電子工業(株) (有)アップル・ワイズ	44名
	3月6日	第3回交流連携サロン 講演「ものづくり日本が世界No.1であり続けるために」ゼネラル・ダクソン(株) 代表取締役社長 石崎義公 企業プレゼン:イフォック(株) (株)セツウ 京都	48名

第4回キラリと光る 京都やましろ 元気な企業フェア (オリ-ワ倶楽部第1回交流連携加)	11月24日	講演「激動の時代に生き抜く中小企業経営—連携、ネットワークで円高・消費不況を克服」 (社) 中小企業診断協会京都支部長 山脇康彦 企業プレゼン：田中鉄筋工業(株) (株) アドバソ理研	82名
---	--------	---	-----

キ 京都企業創造ファンド事業 (京都府寄附金 京都企業創造ファンド事業出資金)

＜京都企業創造ファンドの運営協力＞

将来性の高いアーリーステージのものづくり系ベンチャーに積極的な資金提供を行い、京都経済を支える波及効果の高い発注型ものづくり系企業を育成することを目的として実施した。

運営主体：京都ものづくりVB育成投資事業有限責任組合 (無限責任社員：日本アジア投資株式会社 (JAIC)、ファンド額：23億円)

対象ベンチャー企業の選定にアドバイザーリーボードメンバーとして参画

・重点投資 12企業、一般投資 21企業

## 4 庶務

### (1) 理事会、評議員会

#### ア 理事会の開催状況

第1回 平成23年6月6日(火) 大日本スクリーン製造(株)西館5階五山ホール

- ◇(財)京都産業21の平成22年度事業報告について承認を求める件
- ◇(財)京都産業21の平成22年度収支決算について承認を求める件
- ◇(公財)京都産業21平成23年度収支予算(案)及び事業計画(案)について承認を求める件
- ◇(公財)京都産業21諸規程の一部改正について決議を求める件
- ◇(公財)京都産業21委員等の謝金等に関する規程の制定について決議を求める件
- ◇(財)京都産業21旅費規程の一部改正の専決処分について同意を求める件
- ◇第1回評議員会の開催について

第2回 平成23年7月26日(火) 大日本スクリーン製造(株)西館5階 五山ホール

- ◇(財)京都産業21の平成23年度4月・5月期事業報告について承認を求める件
- ◇(財)京都産業21の平成23年度4月・5月期収支決算について承認を求める件
- ◇(公財)京都産業21会計監査人の報酬等について決議を求める件
- ◇(公財)京都産業21顧問の委嘱について承認を求める件
- ◇第2回評議員会の決議の省略による開催について
- ◇第3回評議員会の開催について

・理事長、専務理事及び常務理事の職務執行状況報告

理事長 概要報告

家次専務理事

京都産業21設立10周年記念事業(案)について

第3次中期計画の検討について

各補助金等の申請受付状況及び採択状況について

岸田常務理事

京都企業創造ファンド事業について

京都府中小企業節電対策緊急支援事業について

京都ビジネス交流フェア2012開催概要について

第3回 決議の省略

◇理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

- ・団体優良職員の京都府知事表彰の申請について
- ・瀧理事が代表取締役社長を務める株式会社太洋堂との設立10周年記念誌作成の契約について
- ・上記の提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされる日は、それぞれ平成23年10月28日とすること。

第4回 平成24年3月14日(水) リーガロイヤルホテル京都2階 愛宕の間

- ◇(公財)京都産業21第3次中期計画(案)について決議を求める件
- ◇平成24年度(公財)京都産業21事業計画(案)について承認を求める件

- ◇平成24年度（公財）京都産業21収支予算（案）について承認を求める件
- ◇平成23年度（公財）京都産業21収支補正予算(案)について承認を求める件
- ◇（公財）京都産業21旅費規程の一部改正について決議を求める件
  - ・ 理事長、専務理事及び常務理事の職務執行状況報告
 

理事長	京都産業21設立10周年記念事業の報告
家次専務理事	4月1日付職員の採用について
	大槻評議員の決議の省略による選任について
  - 岸田常務理事 京都ビジネス交流フェア2012開催結果

#### 第5回 報告の省略

- ◇理事会への報告を要しないこととされた事項の内容
  - ・平成23年10月28日付で理事会の決議があったものとみなされた、利益相反取引である株式会社太洋堂と当財団の間における財団設立10周年記念誌作成の業務委託契約についての下記の重要な事実の報告
  - ・理事会への報告を要しないこととされた日 平成24年3月6日（火）

### イ 評議員会の開催状況

第1回 平成23年6月23日（木） 京都府産業支援センター2階 財団会議室  
 ◇財団法人京都産業21平成22年度収支決算について承認を求める件

#### 第2回 決議の省略

- ◇「公益財団法人京都産業21評議員の選任について」
- ◇上記提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、平成23年8月9日とすること。

第3回 平成23年8月23日（火） 京都府産業支援センター2階 財団会議室  
 ◇財団法人京都産業21平成23年度4月・5月期収支決算について承認を求める件

### （2）第3次中期計画の策定

平成24年度～26年度の3カ年間に取組む「第3次中期計画」を下記項目毎に策定した。

- ◇キャッチフレーズ Always Together ～活力ある未来のために～
- ◇基本方針
- ◇財団の位置づけ
- ◇事業展開のフィールド
- ◇顧客向け重点サービス
- ◇府・他の機関との連携強化
- ◇組織力（内部）強化の重点施策
- ◇財団組織の設計の視点
- ◇実行の指標

### （3）顧客満足度の定点観測

第2次中期計画進行管理委員会（財団役職員（常勤）で構成）では、9月に前年度の財団事業・サービス利用者（約1,300名）を対象に、昨年度に引き続き顧客満足度調査を実施した。

## ア 顧客満足の上

区 分	21 年度 (調査結果)	22 年度		23 年度	
		目標	実績 (達成度)	目標	実績 (達成度)
財 団 全 体	69%	75% (対前年度 6 ポイント増)	73% (対前年度 4 ポイント増)	80% (対前年度 5 ポイント増)	71% (対前年度 2 ポイント減)
個別サービス	平均 85% ( 95.5% ~56.3%) (33 項目)	全ての提供サ ー ビ ス で 75%以上、且 つ 21 年度調 査数値を上回 る満足度を目 指す	平均 80.5% (97.8~55.6%) 75%以上の事 業は 38 項目 中 29 項目	全ての提供サ ー ビ ス で、 80%以上かつ 21 年度・22 年度調査を上 回る満足度を 目指す。	平均 89.8% (100~68.0%) 80%以上の事 業は 40 項目 中 36 項目

## イ その他の数値目標

区 分	20 年度 (実績)	21 年度		22 年度		23 年度	
		目標	実績 (達成度)	目標	実績 (達成度)	目標	実績 3月末実績
企業訪問数	2,573	2,650	2,608 (98.4%)	2,800	2,863 (102.3%)	3,000	3,851 (128.4%)
相談件数	6,228	6,300	6,629 (105.2%)	6,600	6,833 (103.5%)	7,000	8,877 (126.8%)
HPアクセス件数	648,780	750,000	824,843 (110.0%)	850,000	1,220,156 (143.5%)	1,000,000	1,218,515 (121.8%)

## (4) 人材育成研修

### ア 派遣研修

◇中小企業大学校等への職員を派遣 14回 (延べ18人)

「企業の目利きと経営支援のポイント」

「企業の目利きⅠ」～経営資源の見方と支援～

「企業再生支援の進め方」

「農商工連携・地域資源支援事業の活用支援Ⅰ」～案件の発掘と事業の仕組みづくり～

「中小企業の資金調達戦略」

「コーディネート能力向上研修」

「販路開拓支援の進め方」

「BCP 作成支援の進め方」

「中小企業経営診断セミナー(1))及び「(3)」

「企業再生支援のための財務分析能力の向上」

「新事業活動支援研修」

「キャッシュフロー経営と利益・資金計画」

「市町村産業支援関係者研修」

◇「活性化担当者研修」 6名派遣 中小企業基盤整備機構主催

- ◇「活性化シンポジウム」 3名派遣 //
- ◇「公益法人会計研修」(財)全国中小企業取引振興協会主催
- ◇「京商ビジネスセミナー」 京都商工会議所主催

#### イ 職員研修

人権問題職員研修(2回)、健康管理セミナー(2回)

#### ウ スキルアップ研究会

- ◇外部講師等を招聘して研究会を開催 3回
- ◇職員を講師として研究会(報告会)を開催 2回
- ◇経営品質入門講座を受講 1名受講
- ◇職員対象ホームページ作成講座を受講 5名(2日間)

### (5) 会員の状況

会員区分		23年3月	継続加入	区分変更	新規加入	24年3月	前年度比
K I I C 会 員	大会社	20	20	0	0	20	0
	中会社	63	60	△1	0	59	△4
	小会社	34	33	0	1	34	0
	グループ	43	40	1	1	42	△1
	計	160	153	0	2	155	△5
賛助会員		48	46	0	4	50	2
合 計		208	199		6	205	△3
			▲9				

新規加入に注力し6社増加したが、経営環境の厳しさ等から9社の退会があった。

(資料)

財団の現況

- 設立 平成 13 年 4 月 1 日
- 基本財産 2 億 1 千万円
- 役員 顧問 4 名、理事長 1 名、副理事長 1 名  
専務理事 1 名、常務理事 1 名、理事 12 名、監事 2 名
- 職員 (平成 24 年 3 月 31 日現在)
  - ◇常勤職員数 53 名【プロパー 16 名、府派遣 17 名、府 OB 6 名、財団 OB 1 名、民間出向 8 名、京都市出向 1 名、京丹後市研修生 2 名、民間 OB 2 名】
  - ◇臨時職員 20 名
  - ◇相談員 4 名
  - ◇ビジネス・スーパーバイザー 3 名
  - ◇コーディネーター 8 名

○組織体制

